

取扱説明書
ポータブルテレビ

品番 **SV-ME850V**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(93～97ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



水のかかる
ところで
ご使用前に

6～7ページを必ずお読みください。

困ったときは?

こんな表示が出たら : 78～80ページ
 故障かな!? : 81～83ページ
 Q&A (よくあるご質問) : 84ページ

保証書別添付

RQT9421-3S

安全上の
ご注意

準備

テレビ放送
を見る

録画・
ビデオ再生

ラジオを
聴く

音楽を聴く

写真を見る

各種設定

その他

準備

1. 付属品 4
2. まずお読みください 5
3. 防水について
(ご使用前に必ずお読みください) 6
4. 各部の名前 8
5. SD カードを入れる / 取り出す 10
6. 本体スタンドと
本体アンテナの使いかた 11
7. 電源の準備をする 12
8. 充電する 14
9. 電源を入れてチャンネル設定する 16



テレビ放送を見る

1. テレビ放送を見る 18
2. 選局する
(番組表から / チャンネル一覧から) 20
3. チャンネル設定の変更など 22
 - 「ホーム」「おでかけ」に
チャンネルを登録(変更)する 22
 - チャンネルを削除する 23
4. テレビの設定
(ホーム ↔ おでかけの切換、字幕など) 24
5. 外部アンテナ(屋外 UHF アンテナ)
と接続する 25



録画・ビデオ再生

1. 録画について 26
2. テレビ放送を録画する 27
 - 視聴中の番組を録画する 27
 - 番組表から予約録画する 28
 - 日時を指定して予約録画する 30
3. 予約録画を
確認 / 変更 / 取り消しする 34
4. 録画した番組を見る 36
5. 本機で再生できるビデオファイル 38
6. 録画した番組を
保護(プロテクト)する 39
7. 録画した番組を消去する 40
8. ビデオの再生設定
(字幕、二重音声など) 41

テレビを手軽に
持ち出そう





ラジオを聴く

1. ラジオについて 42
2. ラジオを聴く 43
3. 選局する
(プリセット一覧から / マニュアルで) 44
4. プリセット一覧の変更など 46

- 「ホーム」「おでかけ」に
放送局を登録(変更)する 46
 - プリセットチャンネルを削除する 48
5. ラジオの設定
(ホーム ↔ おでかけの切替など) ... 49

音楽を聴く

1. 音楽を聴く 50
2. リピートなどの再生設定をする 54
3. 音楽再生時に写真を表示する 56
4. 音楽記録の準備をする
(付属 CD-ROM のインストール) 58
5. パソコンと接続する 61

写真を見る

1. 写真を順番に再生する
(スライドショー) 62
2. 分類された写真を見る
(日付検索、フォルダ検索など) 65
3. お気に入りの写真を集める 68
4. スライドショーの再生設定
(順序、BGM (音楽) など) 70

場所によって、電波の受信状態が異なります。受信状態のよいところでお楽しみください。

各種設定

1. 画質や音質の設定をする 72
2. タイマーを設定する 74
3. カードフォーマットや
その他の設定をする 75

その他

1. 外付けスタンドを使う 76
2. こんな表示が出たら 78
3. 故障かな!? 81
4. Q&A (よくあるご質問) 84
5. 使用上のお願い 85
6. 本機を廃棄するときのお願い 88
7. 仕様 90
8. 保証とアフターサービス
(よくお読みください) 98
9. さくいん 103

お風呂でテレビ※

※防水仕様について

IPX6/IPX7相当に対応しています。ご使用前に必ず6~7ページをお読みください。

安全上のご注意

準備

テレビ放送を見る

録画・ビデオ再生

ラジオを聴く

音楽を聴く

写真を見る

各種設定

その他

1. 付属品



付属品をご確認ください。

記載の品番は、2009年3月現在のものです。

<input type="checkbox"/> ACアダプター (RFEA505J) 	<input type="checkbox"/> USB接続ケーブル (K2KZ4AB00001) 
<input type="checkbox"/> CD-ROM 	<input type="checkbox"/> SDメモリーカード (2 GB) 
<input type="checkbox"/> バッテリーチャージャースタンド (RFEB038G) 	<input type="checkbox"/> 外付けスタンド (RFA3042) 
<input type="checkbox"/> FMアンテナコード (RFE0212) 	
本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。	

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 本書では、付属品も含む本機で使用できるカード (P87) を「SDカード」、バッテリーチャージャースタンドを「チャージャースタンド」と記載しています。

別売品のご紹介 (2009年3月現在)

ステレオインサイドホン

RP-HJE300

CLUB Panasonic

Pana Sense

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

2. まずお読みください

■ テレビ放送について

地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴することができます。（アナログ放送は受信することができません）

ワンセグとは

- ワンセグ（地上デジタルテレビ放送1セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、UHF電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006年4月1日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）
- ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>

- 本機は緊急警報放送、データ放送サービスには対応していません。
- 画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでないことがあります。
- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。



■ 記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品またはSDカードの不具合で録画や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 本書内のイラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

3. 防水について (ご使用前に必ずお読みください)

■ 本機の防水性について

本機は、JIS C 0920 (IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」の IPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。

IPX6 (噴流に対する保護等級)

本機から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/分の水を 3 分以上注水したあと、本機の機能が動作することに対応しています。温水には対応していません。

IPX7 (浸水に対する保護等級)

常温の水道水にて、水深 1 m に本機を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、本機の機能が動作することに対応しています。水中に落下させたり、水中で操作したり、お風呂などの温水につけることには対応していません。

防水対象の液体	対応	真水、水道水
	非対応*	石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水

※ 非対応の水中につけないでください。

■ 水のかかるところ (浴室や台所など) で使用するときには以下のことをしないでください

- AC アダプターを接続したり、チャージャースタンドを使用しない

ぬれた手などで触ると感電の恐れがあります。

- 外部アンテナ接続用のアンテナケーブルやヘッドホンを接続して使用しない

端子に水滴が付くと、誤動作したり端子がさびる恐れがあります。

- カードふたを開けて、SD カードを入れたり交換したりしない

水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

カードふたと端子ふたをしっかりと閉じていても以下のことをしないでください

- 故意に水の中に入れない

誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布のようなものでふいてください。

- 石けん水やシャンプーなどの液体をかけない

誤ってかかった場合は、速やかに洗い流し、柔らかい布のようなものでふいてください。

① 常温の水道水を弱めの水量にして洗い流してください。(洗剤で洗わないでください)

② ドライヤーなどの熱風で乾かさないうでください。

- 浴室など湿気の高い場所に放置しない

使用後は、柔らかい布のようなもので水滴をふきとり、浴室から持ち出して室内に置いてください。

- サウナで使用しない

- 寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない

本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起こり、本機内部に水滴が付くことがあります。

■ 防水性を保つには、以下のことに気をつけて取り扱ってください

- 本機を落としたり、ぶつかけたり、強い圧力をかけない

本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。

- スピーカーの穴を先端のものが当たったもので押さない

内部の防水シートが傷つき、防水性が保てなくなります。

■ カードふた、端子ふたの取り扱いについて

ふたをしっかりと確実に閉じてください。

ふたが開いたまま使用すると本機内部に水が入り故障します。以下の場合でも内部に水が入り故障します。

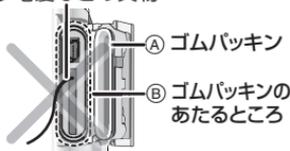
- ① ふたが完全に閉じられておらず、すき間がある
- ② ゴムパッキン (A) やゴムパッキンのあたるところ (B) に毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着したまま閉じている



- カードふたには [LOCK/RELEASE] つまみを備えています。ご使用前に必ず [LOCK/RELEASE] つまみの赤色部分が隠れていることを確認してください。
- ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。



② 毛髪などの異物



FM ラジオ使用時は、FM アンテナコードを奥まで確実に差し込んでください。

取り付けかたなど、詳しくは 42 ページをお読みください。

防水性を維持するため、2年に1度はゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換(有料)をおすすめします。

- 手がぬれた状態や本機に水滴が付いたままふたを閉めないでください。水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

■ 水のかかるところでご使用後のお手入れ

- 本機をしっかりと持ち、軽く振ってスピーカーなどに付いた水滴を落としてから、乾いた柔らかい布のようなもので本機をふいてください。

寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなど故障の原因になります。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布を絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。

ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので、使用しないでください。

■ スピーカーについて

スピーカーに水滴が付いていると、音が小さくなったりひずむことがあります。水滴を乾いた柔らかい布のようなものでふき取り、しばらく乾燥させてからご使用ください。

万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。なお、付属品は防水仕様ではありません。(外付けスタンド、FM アンテナコードは除く)

4. 各部の名前

動作表示ランプ

- 充電中：
点灯
- 録画（準備）中：
約1秒間隔で点滅
- ラジオ受信中：
約3秒間隔で点滅
- 音楽再生中：
約3秒間隔で点滅

スピーカー（L）

液晶モニター

電源ボタン (P16)
[ON]



音量ボタン
[VOL]



モードボタン
[MODE]

メニューボタン
[MENU]

戻るボタン
[RETURN]
メニュー設定時などに押すと、押すたびに前の画面に戻ることができます。

十字キー

再生操作、モード選択、メニュー設定時などに押して操作します。

本書での十字キー操作の表現

例：
左を押すとき



例：
中央を押すとき



スピーカー（R）

■ ホールドレバー [HOLD]

ホールド設定をオンにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

ホールド設定オン



解除する



- ホールド設定をオンにすると、再生が中断するなどの誤操作防止になります。また、ご使用後かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

カードふた

ロックつまみ
[LOCK/RELEASE]

本体アンテナ
(P11)

端子ふた



(閉じるときは、ふたの凸部と端子を合わせて閉めてください)

開ける

外部アンテナ端子
(テレビアンテナ/FMアンテナ)
(\varnothing 3.5 mmミニジャック)
(P25、42)

ヘッドホン端子
(\varnothing 3.5 mmステレオミニジャック)

本体スタンド
(P11)

充電端子 (P12)

DC入力端子(P13)/
USB 端子 (P61)

リセットボタン[RESET]
電源が切れないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。

製造番号について

本体スタンドを開いたところに記載されています。



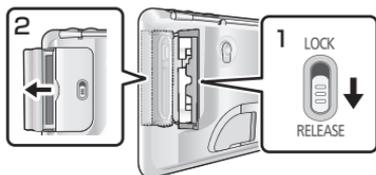
SER.NO XX年製
XXXXXXXXXXXX X
製造番号

カード挿入部(P10)

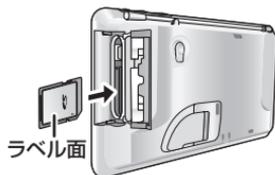
5. SD カードを入れる / 取り出す

SD カードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

- 1 カードふたを開ける**
- 1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす
 - 2 カードふたを引き出し、開ける



- 2 SD カードを入れる (出す)**



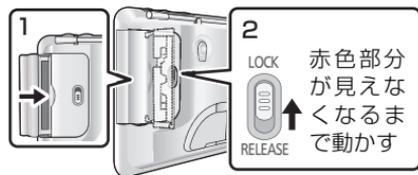
入れるとき

SD カードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ奥まで入れてください。

出すとき

SD カードを「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。

- 3 カードふたを閉じる**
- 1 カードふたを閉じ、まっすぐ押し込む
 - 2 [LOCK/RELEASE] つまみを [LOCK] 側へ動かす

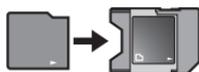


- カードふたが確実に閉じているかを確認してください。

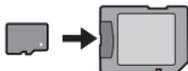
miniSDカード/microSDカード

miniSD カードや microSD カードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

miniSDカード

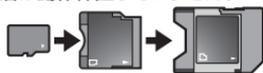


microSDカード



- microSD カードは SD カードアダプターに直接装着してください。

下記の装着は動作保証していません。



お知らせ

- SD カード以外のカード (87 ページに記載以外のカード) は入れないでください。
- パソコンなどに接続して転送中や、再生中、録画中は、SD カードを取り出さないでください。転送中や録画中に取り出すと、SD カードの内容が破壊される場合があります。
- ぬれた手で SD カードを出し入れしたり、浴室など水のかかるところで出し入れをしないでください。
- 本機に水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってから SD カードを出し入れしてください。

6. 本体スタンドと本体アンテナの使いかた

本体スタンドの使いかた

矢印の方向に開くと、本機を手で持たなくても、立ててテレビ放送などを見ることができます。

- 本体スタンドは、約 90 度を開いた状態で使用してください。これ以上無理に開いて使用すると、本機が倒れやすくなったり、本体スタンドが変形し、破損する場合があります。



お知らせ

- ボタンを操作するときなど、本機を操作するときは本機を手で支えながら操作してください。

本体アンテナの使いかた

テレビ放送を見る場合は、本体アンテナを立ててください。

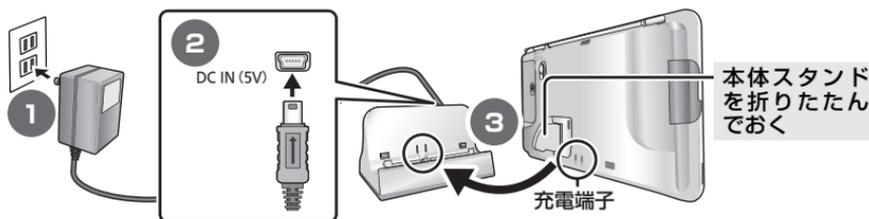
- 本体アンテナは矢印の方向に動かしてください。本機裏面を正面に向けて手前方向や、液晶モニター側に動かすことはできません。
- テレビを見ないときや録画をしないときは、本体アンテナを元の位置に戻してください。
- 本体アンテナに無理な力を加えないでください。



7. 電源の準備をする

AC アダプターを使用すると、部屋などで長時間連続してテレビ放送などを視聴できます。

チャージャースタンドを使う



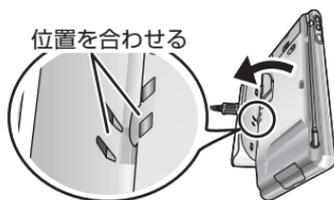
1 AC アダプターをコンセントに差し込む

2 AC アダプターのケーブルの向きを確かめ、奥まで確実に差し込む

3 本機をチャージャースタンドに装着する

1 チャージャースタンドと本機の充電端子部の位置を合わせる

2 本機を背もたれ側へ倒す



■ 本機を外す

チャージャースタンドを押さえながら、本機を持ち上げる



- 本機を操作するときは、本機を手で支えながら操作してください。
- 本機をチャージャースタンドに取り付けたまま持ち運ばないでください。本機が外れ、落下するなどして破損します。

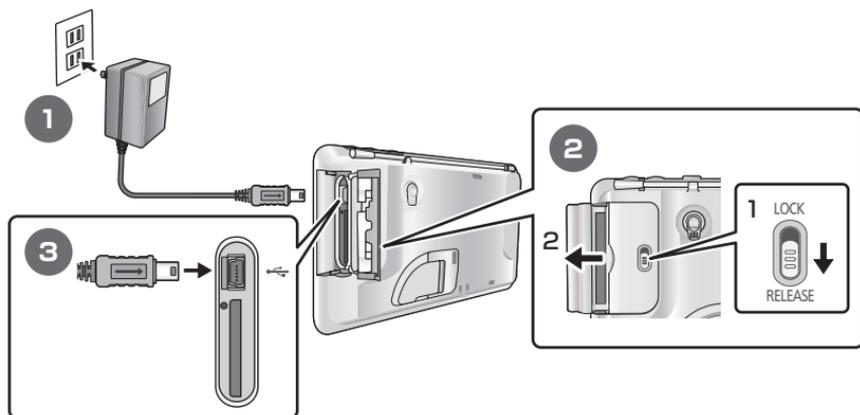
■ 本機に水滴が付いているときは

柔らかい布のようなものでふき取ってください。特に充電端子に水滴が残らないようにお気をつけください。

お知らせ

- チャージャースタンドは防水仕様ではありません。浴室など水のかかるところで使用しないでください。
- 本機に水滴などが付いた状態でチャージャースタンドに載せないでください。
- 必ず付属の AC アダプターを使用してください。付属の AC アダプター以外をチャージャースタンドに使用しないでください。
- 使用中や充電中は AC アダプターが多少熱くなりますが、異常ではありません。

チャージャースタンドを使わず AC アダプターだけを使う



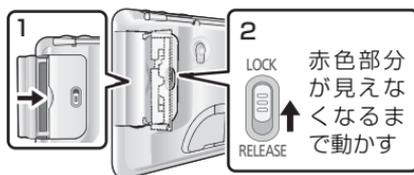
1 AC アダプターをコンセントに差し込む

2 カードふたを開ける

- 1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす
- 2 カードふたを引き出し、開ける

3 AC アダプターのケーブルの向きを確かめ、奥まで確実に差し込む

■ AC アダプターを使用しないときは



- 1 カードふたを閉じ、まっすぐ押し込む
- 2 [LOCK/RELEASE] つまみを [LOCK] 側へ動かす

- カードふたが確実に閉じているかを確認してください。

お知らせ

- めれた手で AC アダプターを接続したり、浴室など水のかかるところで AC アダプターを使用しないでください。
- 本機に水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってから AC アダプターを接続してください。
- AC アダプターは本機専用です。必ず付属の AC アダプターを使用してください。

8. 充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
製品廃棄のとき以外は取り外ししないでください。

- 1** (電源が入っている場合は)
【】 ボタンを押して、
電源を切る



- 2** ACアダプターを使って電源の
準備をする (P12、13)

充電中は

動作表示ランプが点灯
します。

動作表示ランプ



充電が完了すると

動作表示ランプが消灯
します。



お知らせ

- 電源が入っているときでも充電されませんが、満充電になるまで約 20 時間かかります。(お買い上げ時の設定の場合) また、充電中の表示はされません。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 内蔵の充電式電池を電源とした場合は、浴室や屋外に持ち出して使用できません。部屋などで長時間テレビを見る場合は、AC アダプターを使用すると、電池残量を気にせず視聴することができます。

エコ充電の設定

※ はじめてお使いの場合は、まずチャンネル設定をしてから、設定してください。

 チャンネル設定をする：P16

通常充電にするか、エコ充電にするかを設定します。

お買い上げ時は「オフ」(通常充電) に設定されています。

通常充電 (オフ) :

100% の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。

エコ充電 (オン) :

90% の充電で充電完了になり、電池寿命 (充電回数) を長持ちさせたい場合に向いています。(電池持続時間は通常充電の 90% になります (P91))

- 電源を入れておく (P16)

- 1** 【MENU】 ボタンを押す

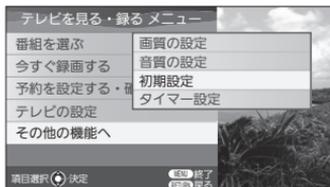


- 2** ▲/▼ で「その他の機能へ」を
選び、中央を押す

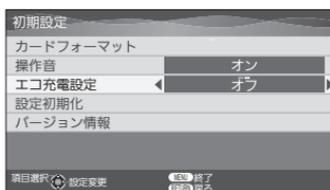


※ 画面例は「テレビを見る・録る」モードの場合

3 ▲/▼ で「初期設定」を選び、中央を押す



4 ▲/▼ で「エコ充電設定」を選ぶ



5 ◀/▶ で「オン」または「オフ」を選ぶ



オン：エコ充電

オフ：通常充電

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] ボタンを押してください。

お知らせ

- 1分以上操作しないしているとメニュー画面が消えます。

🔋 電池持続時間については：P91

内蔵電池について

■ 充電時間 / 充電回数

充電時間

通常充電時	約 8 時間
エコ充電時	約 6 時間

- 周囲温度 25℃ で充電時
- 電池を使い切った状態※から充電時
※ この場合「電池残量がありません。充電してください。」と表示されます。

充電環境について

電池の充電は周囲温度 5℃～35℃で行ってください。温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなる場合があります。また充電できない場合もあります。この場合、液晶モニターにメッセージ (P80) が表示されるとともに動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

充電回数

通常充電時	約 500 回
エコ充電時	通常充電時の約 2 倍

■ 上手にお使いになるには

以下の使いかたをすることにより、電池寿命 (充電回数) が長持ちします。

- エコ充電設定を「オン」で充電してください。
- 長期間使用しない場合は、定期的に (約 1 か月に一度) 充電してください。

■ 電池残量表示について



表示が赤色になると、画面に常時表示され、しばらくすると電源が切れます。赤色に変わったときは早めに充電してください。

- 表示が消えているときは、十字キーの ▲ を押すと表示を確認できます。

9. 電源を入れてチャンネル設定する



都道府県（地域）に登録されているチャンネルについて

放送局名は、2009年3月時点の放送局運用規定に基づいています。

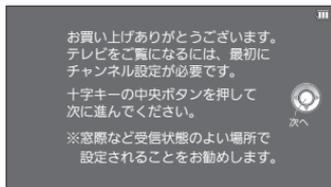
- ご使用の地域によっては、電波状況が悪いチャンネルも登録されている場合があります。
- ワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されていますが、サービスが開始されるまでは視聴できません。
- 登録されているチャンネルの放送局名や周波数は、将来変更になる場合があります。

[**⏻**] ボタンを押して電源を入れる

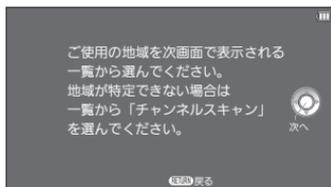
お買い上げ時はチャンネル設定されていません。以下の手順でチャンネル設定をしてください。

- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。

1 表示内容を確認し、十字キーの中央を押す



2 チャンネル設定の方法を確認し、十字キーの中央を押す



3 ▲/▼ でご使用になる地域を選び、中央を押す

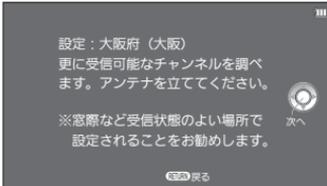


- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選んでください。この場合、手順⑤へすすんでください。

4

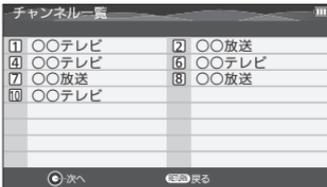
▲/▼ で都道府県を選び、
中央を押す

5

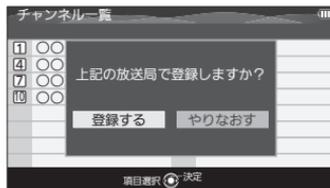
表示内容を確認し、
十字キーの中央を押す

現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを調べて表示します。*

6

登録する放送局を確認し、
十字キーの中央を押す

7

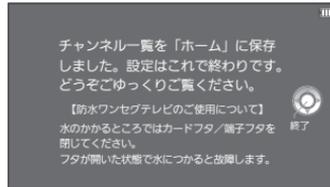
◀/▶ で「登録する」を選び、
中央を押す

- 登録し直したいときは、「やりなおす」を選んで手順①から再度操作してください。

■ 削除したいチャンネルがある場合
チャンネル設定を終えてから、映りの悪いチャンネルや不要なチャンネルを削除することができます。

☞ チャンネルを削除するには：P23

8

表示内容を確認し、
十字キーの中央を押す

- 上記の操作でチャンネルは「ホーム」に登録されました。本機では「ホーム」のほか、「おでかけ」にもチャンネルを登録できます。

☞ 「おでかけ」に登録する：P22

お知らせ

※ 都道府県（地域）に登録されているチャンネルと検索されたチャンネルが表示されます。（手順

③ で「チャンネルスキャン」を選んだ場合は、検索されたチャンネルのみ表示されます）

- 約 5 分以上操作しないしていると自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ）
- 放送局は最大 18 局まで登録できます。
- 地域を指定して設定した場合は、ラジオの放送局もプリセット一覧に登録されます。
- ひとつのチャンネル内で複数の番組が放送されるサービスに対応するチャンネルがある場合は、放送局の末尾に「-2」「-3」を表示します。

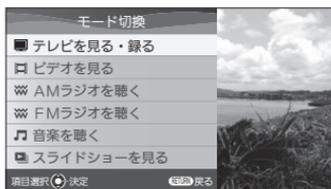
1. テレビ放送を見る

- 本体アンテナを立てておく (P11)

1 [MODE] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「テレビを見る・録る」を選び、中央を押す



テレビ放送を受信します。番組情報表示はしばらくすると消えます。

■ 見たい番組を選ぶ 十字キーの ◀/▶ を押す



■ 音量を調整する [VOL] ボタンの [-] [+] を押す



- 「0」～「25」までの間で設定できます。
- お買い上げ時は「12」に設定されています。

■ 映像の乱れがあるときは

屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が進んだり乱れたりします。場所を変えたり、本体アンテナの角度を調整してください。

外部アンテナ（屋外 UHF アンテナ）と接続すると安定した受信状態で視聴できます。

外部アンテナと接続する：P25

お知らせ

- 「現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。」が表示される場合、チャンネル設定をしたときと異なる地域の放送を受信しています。チャンネルを設定し直してください。(P22)
- モード切換画面やメニュー設定画面では、1分以上操作しない場合、切換 / 設定画面が消えます。

■ 番組情報表示を切り換えるには

現在視聴中の放送局名や電池残量などの表示 / 非表示を切り換えることができます。

- 表示を消していても電池残量が少なくなると、「」が自動的に表示されます。(P15)
この場合、「」表示を消すことはできません。

テレビ放送を視聴中に十字キーの ▲ を押す

- 押すたびに表示が変わります。



十字キーを押さなくても、約 5 秒経過すると、自動的に ③ の画面に切り換わります。



※ 番組名が長い場合は、番組名全部を表示できません。

- **A** 「ホーム」/「おでかけ」のどちらに登録したチャンネルを受信しているかを表示 (P24)

: 「ホーム」 : 「おでかけ」

- 録画中は表示されません。

- **B** 電波の受信レベルの目安 強  弱

- **C** : 「反響音を抑える」または「小声を大きくする」を設定時 (P73)

- **D** : 電池残量表示 (P15)

: AC アダプター使用時

- **E** 「アンテナ設定」をどちらに設定しているかを表示 (P24)

本体アンテナ: 「本体アンテナ」 **外部アンテナ**: 「外部アンテナ」

- **F** 十字キーの操作ガイド、[RETURN] ボタンの操作ガイド

- ガイド表示に対応するキーやボタンを押すとガイド表示の動作をします。

- **G** SD カードへの録画可能時間の目安

- 時間と分で表示します。例えば「 1:30」の表示は約 1 時間 30 分の録画が可能です。

- 「 --: --」と表示される場合は、SD カードが入っていません。録画する場合は SD カードを入れてください。(P10)

- 録画可能時間について、詳しくは 92 ページをお読みください。

2. 選局する (番組表から / チャンネル一覧から)

番組表から選局する

番組表を表示し、番組内容を確認しながら現在視聴できる番組を選ぶことができます。

- 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

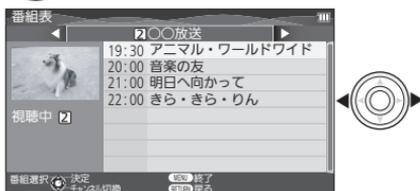
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「番組を選ぶ」を選び、中央を押す



3 ◀/▶ でチャンネルを選ぶ



- 放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

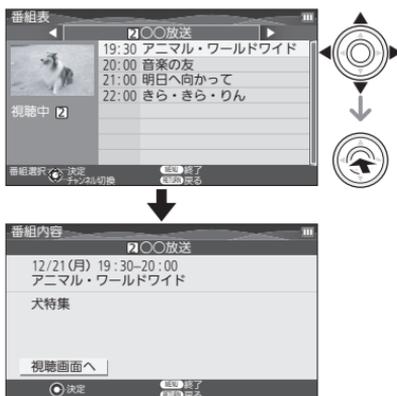
◇ 番組表を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

■ 番組内容を見る

手順③で十字キーの▲/▼/◀/▶を押して番組を選び、中央を押すと番組内容を表示することができます。

チャンネルを選ぶ：◀/▶を押す
番組を選ぶ：▲/▼を押す



◇ 番組内容を消すには

十字キーの中央を押してください。

お知らせ

- 番組表には、最大 10 番組まで表示されます。

チャンネル一覧から選局する

• 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

1 テレビを視聴中に
[RETURN] ボタンを押す



2 ▲/▼ でチャンネルを選び、
中央を押す



▲/▼ でチャンネルを変えても、画面は変更したチャンネルに切り換わりません。

テレビ放送
を見る

3. チャンネル設定の変更など

「ホーム」「おでかけ」にチャンネルを登録（変更）する

本機は「ホーム」「おでかけ」の2種類にチャンネルを登録できます。

ご使用場所に依じて使い分けて登録しておく、移動するたびにチャンネル登録し直す必要がないので便利です。

- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。
- お買い上げ時に設定したチャンネルは（P16）、「ホーム」に登録されています。
- チャンネル設定は、変更するたびにチャンネルを新しく登録し直します。
- 設定したチャンネルは、電源を切っても保持されます。
- 「ホーム」「おでかけ」には、放送局をそれぞれ最大18局まで登録できます。
- お買い上げ後、一度「AM(FM) ラジオを聴く」モードに切り換えた場合は、下記の操作でチャンネル設定を登録/変更しても、ラジオのプリセット一覧は登録/変更されません。
- 「おでかけ」に登録しても、ラジオのプリセット一覧の「おでかけ」には登録されません。

● 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P18）

● 本体アンテナを立てておく（P11）

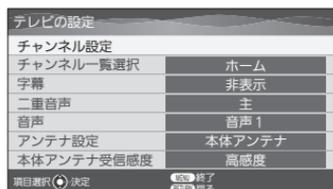
1 [MENU] ボタンを押す



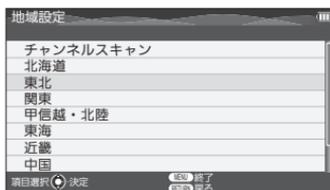
2 ▲/▼ で「テレビの設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「チャンネル設定」を選び、中央を押す

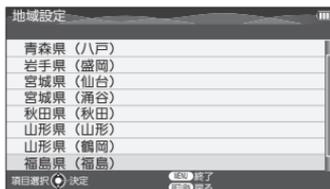


4 ▲/▼ でご使用になる地域を選び、中央を押す

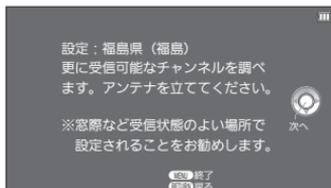


- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選んでください。この場合、手順⑥へすすんでください。

5 ▲/▼ で都道府県を選び、中央を押す



6 表示内容を確認し、十字キーの中央を押す

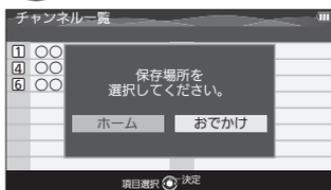


現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを調べて表示します。

7 登録する放送局を確認し、十字キーの中央を押す



8 ◀/▶ で保存場所を選び、中央を押す



ホーム：よく利用する場所（ご自宅など）のチャンネルを登録する場合などに設定してください。

おでかけ：滞在先などでテレビを見る場合に設定してください。

ホーム / おでかけを切り換える：P24

チャンネルを削除する

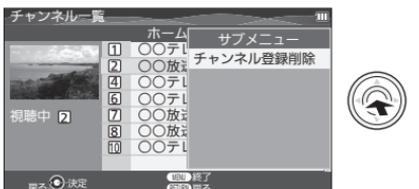
1 テレビを視聴中に [RETURN] ボタンを押す

2 ▲/▼ で削除するチャンネルを選び、▶ を押す

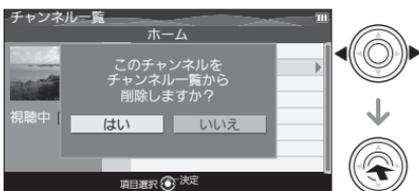


テレビ放送を見る

3 「チャンネル登録削除」が選ばれているので、そのまま十字キーの中央を押す



4 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す



◇ チャンネル一覧画面を消すには [RETURN] ボタンを押してください。

お知らせ

- チャンネル一覧に登録されたチャンネルが1つしかない場合は、削除できません。

4. テレビの設定 (ホーム↔おでかけの切替、字幕など)

- 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「テレビの設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼/◀/▶を押して設定する

設定項目を選ぶ : ▲/▼ を押す

設定内容を選ぶ : ◀/▶ を押す

◇メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

●お買い上げ時の設定

チャンネル一覧選択

登録したチャンネル一覧を切り換えます。

- ホーム
- おでかけ

字幕

字幕放送に対応した番組が放送されている場合に、字幕を表示して視聴することができます。

- 非表示
- 言語 1
- 言語 2

※「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がない番組の場合、字幕は表示されません。

お知らせ

- 「字幕」「二重音声」の設定は、「ビデオを見る」モードの「ビデオの再生設定」の設定と共通です。

二重音声

二重音声に対応した番組が放送されている場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。

- 主
- 副
- 主+副

※二重音声に対応していない番組の場合、主音声での視聴になります。

音声

番組内で複数の音声信号が放送されている場合に、音声を切り換えて視聴することができます。(2009年3月現在、ほとんどの番組は「音声 1」のみ放送されています)

- 音声 1
- 音声 2

※「音声 2」に設定していても、以下の場合は「音声 1」に設定が変更されます。

- 電源を切ったり、チャンネルやモードを切り換えた場合
- 視聴中、「音声 2」の放送がなくなった場合

アンテナ設定

●本体アンテナ

本体のアンテナで受信するときに設定

○外部アンテナ

外部アンテナ (屋外 UHF アンテナ) と接続して受信するときに設定

本体アンテナ受信感度

●高感度

テレビ放送を高感度で受信

○通常感度

テレビ放送を通常の高感度で受信

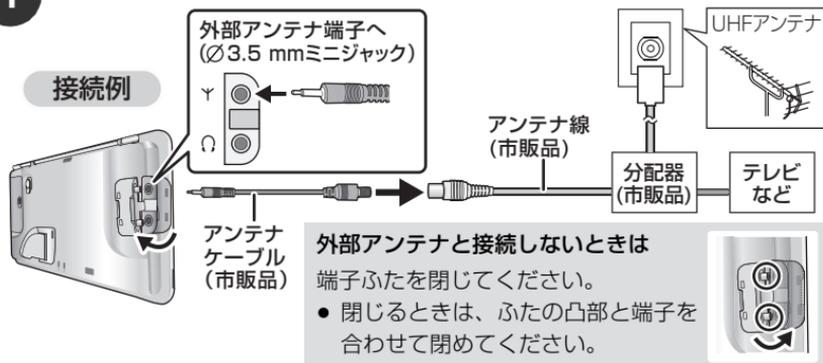
- テレビ塔の近くなど、電波が強すぎるときは「通常感度」に設定してください。

5. 外部アンテナ (屋外 UHF アンテナ) と接続する

本体アンテナの角度を調整しても映像の乱れが直らない場合は、市販のアンテナケーブル (φ3.5 mm ミニプラグ) を使って外部アンテナと接続してください。

※ 外部アンテナで受信するには、本機のアンテナ設定の切り換えが必要です。必ず下記の手順でアンテナ設定を切り換えてください。

1 外部アンテナと本機を接続する



テレビ放送
を見る

2 本機のアンテナ設定を切り換える

- 1 本機の電源を入れ、「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)
- 2 [MENU] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ で「テレビの設定」を選び、中央を押す
- 4 ▲/▼ で「アンテナ設定」を選ぶ
- 5 ◀/▶ で「外部アンテナ」を選び、[MENU] ボタンを押して設定を終える

■ 本体アンテナでテレビを見る場合は

本機の「アンテナ設定」を「本体アンテナ」に設定してください。(P24)

- アンテナ設定の切り換えをしないと、テレビ放送を正常に受信できません。

お知らせ

- めれた手でアンテナケーブルを接続したり、浴室など水のかかるところでアンテナケーブルを使用しないでください。
- 本機やアンテナケーブルに水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってから接続してください。
- アンテナケーブルを CATV (ケーブルテレビ) と接続する場合は、ご自宅の CATV 方式について CATV 会社に確認してください。本機は同一周波数パススルー方式のみに対応しており、トランスモジュレーション方式や周波数変換パススルー方式には対応していません。

1. 録画について

本機では以下の3つの方法で録画できます。

視聴中の番組を **すぐに録画したい**

▶▶▶ **今すぐ録画する P27**

「今すぐ録画する」で録画する場合、録画中に電源を切ると録画も停止されます。

- 液晶モニターを消灯して録画を続けたい場合は、番組表予約 (P28) や日時指定予約 (P30) をしてください。

番組表 で確認しながら **予約したい**

▶▶▶ **番組表予約 P28**

- 番組表は、最大 10 番組しか表示されません。また、放送局によって表示数が少ない場合があります。番組表に表示されないときは日時指定予約をしてください。(P30)

番組表に表示されていない番組を **予約したい**

▶▶▶ **日時指定予約 P30**

- 日時指定予約では、番組延長した場合の番組追従録画には対応していません。

確実に録画
するため、
録画の前に
確認

- 事前に予約録画のチャンネルが受信できることを確認してください。また、予約録画中は本体と本体アンテナを立てた状態にしておいてください。
- 録画する場合はチャージャースタンド (P12) や AC アダプター (P13) の使用をおすすめします。電池残量を気にせず録画することができます。



録画中は

SD カードを取り出さないでください。SD カードの内容が破壊される場合があります。

録画した番組を
再生するには

ビデオ再生対応のビエラ・ワンセグ (SV-ME850V、SV-ME750、SV-ME700、SV-ME75) などで再生してください。ビエラ・ワンセグ以外の機器については下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/audio/>

これら以外の機器で再生することは保証していません。(2009年3月現在)

🔗 **録画した番組を再生するには：P36**

- ワンセグ放送には、番組の著作権保護のためにコピー制御信号 (「録画不可 (コピーネバー)」、 「1 回だけ録画可能 (コピーワンス)」、 「録画制限なし (コピーフリー)」を制御する信号) が組み込まれています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 通常の地上デジタル放送とワンセグ放送では同じ番組が放送される場合が多いですが、それぞれ独自の番組が放送されることもあります。新聞や雑誌の番組表を見て予約した場合、ワンセグ放送で独自の番組が放送されていると、希望の番組と違う番組が録画されます。
- 本機で録画した番組をパソコンなどへエクスプローラで直接転送して見ることはできません。また、パソコンにコピーしたファイルをエクスプローラで本機に再度転送しても、再生することはできません。

2. テレビ放送を録画する

受信したテレビ放送を、本機に入れた SD カードに録画することができます。

視聴中の番組を録画する

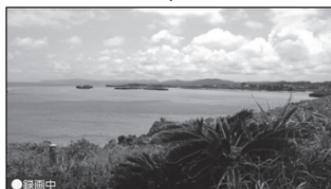
今すぐ録画する

- SD カードを本機に入れておく (P10)
- 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)
- 録画したいチャンネルに変えておく

1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「今すぐ録画する」を選び、中央を押す



録画を開始します。

(動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅し、画面左下に ● 録画中 が表示されます)

AC アダプター使用時は、停止操作をするまで、最大約 8 時間録画し続けます。

録画を停止するには

1 [MENU] ボタンを押す

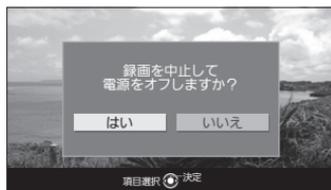


2 ▲/▼ で「録画を停止する」を選び、中央を押す



◇ 録画中に電源ボタンを押した場合
電源を切ろうとするとの確認画面が表示されます。十字キーの ◀▶ を押して、「はい」か「いいえ」を選び、中央を押してください。

- 「はい」を選ぶと、録画を停止します。



🔍 録画した番組を再生するには : P36

録画・
ビデオ再生

2. テレビ放送を録画する (つづき)

番組表から予約録画する

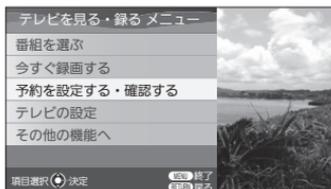
番組表予約

- 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

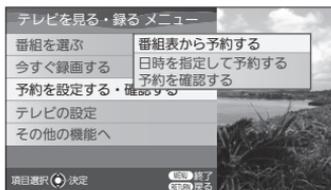
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「予約を設定する・確認する」を選び、中央を押す

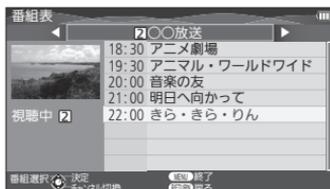


3 ▲/▼ で「番組表から予約する」を選び、中央を押す



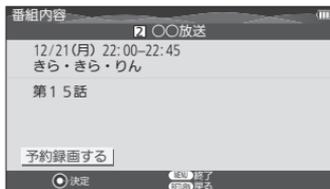
4 ▲/▼/◀/▶ を押して予約する番組を選び、中央を押す

チャンネルを選ぶ：◀/▶ を押す
番組を選ぶ：▲/▼ を押す



- 最大 10 番組まで表示されます。
- 放送局によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

5 「予約録画する」が選ばれているので、そのまま十字キーの中央を押す

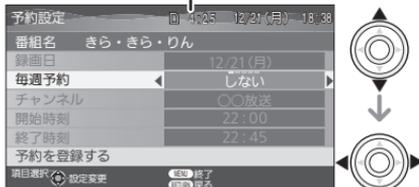


6

◇ 繰り返し録画しない場合
手順⑦へすすむ

◇ 繰り返し予約する場合
▲/▼で「毎週予約」を選び、
◀/▶で設定する

SDカードの録画可能時間



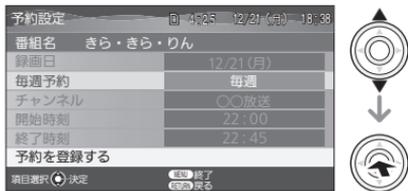
◇ 毎週予約

選んだ番組を以下のパターンで繰り返し予約録画するように設定できます。

- しない
- 毎週
- 月一金
- 月一土
- 毎日

7

▲/▼で「予約を登録する」を選び、中央を押す



◇ 番組表を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

電源を切っても予約時刻になると録画が開始されます。電源を切る場合、本体アンテナを立てて電波を受信しやすいようにしておいてください。

録画の予約をすると

「」が表示されます。



- 録画の予約をしている場合でも、「今すぐ録画する」を選んで録画中は「」が表示されません。

お知らせ

- 番組表にまだ表示されていない番組は、日時を指定して予約録画してください。(P30)
- 終了時刻が未定の番組は、開始時刻から8時間後を終了時刻として録画の予約をします。
- 開始時刻が未定の番組は、録画を予約することができません。
- 録画可能時間は、時間と分で表示します。例えば「 1:30」の表示は約1時間30分の録画が可能です。
- 録画可能時間が「 --:--」と表示される場合は、SDカードが入っていません。必ず予約録画開始時刻までに、本機にSDカードを入れてください。(P10)
- 録画可能時間について、詳しくは92ページをお読みください。

2. テレビ放送を録画する (つづき)

日時を指定して予約録画する

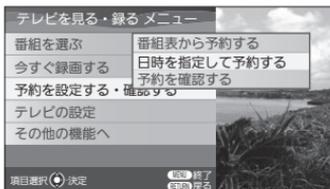
日時指定予約

- 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「予約を設定する・確認する」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「日時を指定して予約する」を選び、中央を押す



4 ▲/▼/◀/▶ を押して予約内容を選ぶ

設定項目を選ぶ: ▲/▼ を押す

設定内容を選ぶ: ◀/▶ を押す



- 録画日は30日先までの間で指定することができます。

◇ 毎週予約

選んだ番組を以下のパターンで繰り返し予約録画するように設定できます。

- しない ● 毎週 ● 月一金
- 月一土 ● 毎日

5 ▲/▼ で「予約を登録する」を選び、中央を押す



登録すると、予約一覧画面になります。

◇ 予約一覧画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

電源を切っても予約時刻になると録画が開始されます。電源を切る場合、本体アンテナを立てて電波を受信しやすいようにしておいてください。

お知らせ

- 録画可能時間は、時間と分で表示します。例えば「 1:30」の表示は約1時間30分の録画が可能です。
- 録画可能時間が「 --:--」と表示される場合は、SDカードが入っていません。必ず予約録画開始時刻までに、本機にSDカードを入れてください。(P10)
- 録画可能時間について、詳しくは92ページをお読みください。

録画の予約をする

画面右下に「」が表示されます。

- 録画の予約をしている場合でも、「今すぐ録画する」を選んで録画中は「」が表示されません。

録画時のお知らせ

SDカード1枚あたりの録画可能番組数	最大 99 番組
予約可能番組数	最大 12 番組
連続録画時間	最大約 8 時間 (ACアダプター使用時)

※ 録画時はACアダプターの使用をおすすめします。内蔵電池のみで使用時は、最大連続録画時間や予約番組数に関係なく、電池残量内の録画となります。

以下の場合には録画できません。

- SDカードが本機に入っていない場合
- 本機に入れたSDカードが録画可能なSDカードでない場合
 - SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている
 - 録画に十分な録画可能時間が残っていない
 - 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されている
 - 認識できないSDカード（サポート外のフォーマットなど）
- 電池残量表示が赤色になっているときや、電池残量がなくなった場合
- パソコンと接続している場合

予約録画開始時刻や録画中に上記の状態になると、予約録画はキャンセルされます。

以下の場合には録画が正しく行われません。

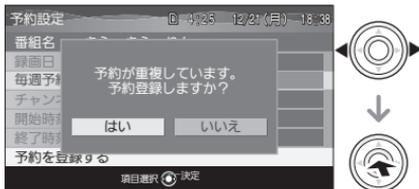
- 電波状況が悪い場合
- 予約録画の時間が重なっている場合

録画中は以下の操作はできません。

- 録画番組以外の番組を視聴
- 番組表の閲覧 / チャンネル一覧の表示
- 音声の設定を変更
- 他のモードに変更
- チャンネル設定
- ホーム ↔ おでかけの切り換え
- 予約録画 / 予約確認
- 初期設定の変更

予約録画時間が重なっている場合は

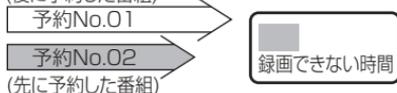
予約時に、他の予約録画と重なっている場合は、下の確認画面が表示されます。十字キーの ◀▶ を押して「はい」または「いいえ」を選び、中央を押してください。



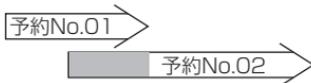
重複した場合の録画内容

- 録画開始時刻が同じときは後から予約した番組を録画します。

(後に予約した番組)



- 録画開始時刻がきた番組を録画終了時刻まで録画したあと、すでに開始時刻を過ぎている番組を途中から録画します。



◇ 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じとき



次の予約録画の準備のため、前の予約番組の終わり約30秒間が録画されません。

録画
・
ビデオ再生

2. テレビ放送を録画する (つづき)

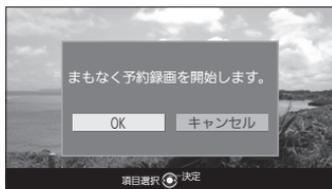
予約録画の開始時刻になると

録画予約すると、電源を切った状態でも録画が始まります。

また、録画中に [⏻] ボタンを押して、液晶モニターを点灯させたり消灯させたりすることができます。液晶モニターを消しても録画は継続されます。

予約録画 1 分前になると

- 動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。
- 電源が入っている場合は、下のお知らせ画面が 10 秒間表示されます。



十字キーの ◀/▶ を押して「OK」を選び、中央を押してください。

- 予約録画をするチャンネルに切り換わります。
- 予約録画をやめる場合は、十字キーの ◀/▶ を押して「キャンセル」を選び、中央を押してください。
- 「OK」 / 「キャンセル」を選ばなかった場合、予約録画は実行されます。

お知らせ画面が消えたあとは

画面左下に [⏻準備中] が表示されます。電源ボタンと音量ボタン以外のボタン操作はできません。

予約をキャンセルしたい場合は、録画が始まってから録画を停止してください。

- 「今すぐ録画する」で録画中に予約録画開始時刻になった場合は、録画を停止しないと予約録画が開始されません。録画を停止するには 27 ページをお読みください。

予約録画が始まると

- 動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。



録画終了後は、録画開始前に視聴していたチャンネルに切り換わります。

■ 予約録画中に録画を停止する場合は

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2 十字キーの ▲/▼ を押して「予約録画をキャンセルする」を選び、中央を押す

■ 本機の時計について

本機ではテレビ放送を受信すると、自動的に時計が設定されます。(手動で設定することはできません)

- 時計表示は、予約録画や予約録画の確認画面のときのみ表示されます。
- 本機の時計はワンセグ放送にあわせて時刻設定します。標準時刻とは若干ずれますが、予約録画内容に影響はありません。

番組追従機能

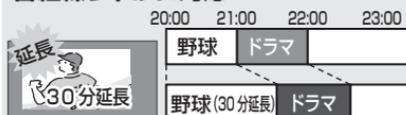
※番組表予約（P28）に対応

本機は、番組表から予約録画した場合にスポーツ番組などの番組延長で、予約後に放送時間が変わっても、延長時間分を自動的に変更することに対応しています。

番組延長・短縮に対応



番組繰り下げに対応



•最大3時間の繰り下げに対応しています。

番組中断に対応



放送時間変更に対応（「毎週予約」で設定時）



※1 繰り下げされた場合
※2 拡大放送された場合

お知らせ

●番組追従機能は受信した番組表情報に基づくので、番組表の放送時間が変更されると番組追従機能が働きます。ただし、以下の場合は番組追従機能に対応できません。

- 日時指定予約で録画した場合
- 番組表で予約したあと、予約の日時やチャンネルを変更した場合
- 番組表情報に放送時間の変更がない場合
- 予約番組の放送開始時刻が予約録画開始時刻よりも早くなった場合
- 開始時刻が繰り下げになった番組を番組表から「毎週予約」で予約した場合

例：通常 21 時～ 22 時に放送される番組が、前の番組が延長になったことで 30 分繰り下げられ、番組表で 21 時 30 分～ 22 時 30 分になっている場合、その番組を「毎週予約」で予約すると次回以降も 21 時 30 分から録画を開始します。このような場合、次回の録画開始前に番組表から再度予約登録してください。

- 予約録画の開始（終了）前までに開始（終了）時刻変更の情報を受信しなかった場合
 - 「毎週予約」を設定した場合、予約時と放送時で番組名が異なる場合
- 番組追従機能が働いて他の予約番組と重複した場合は、先に放送を開始した番組を優先的に録画します。

録画・
ビデオ再生

3. 予約録画を確認 / 変更 / 取り消しする

予約録画内容を確認する / 変更する

• 「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

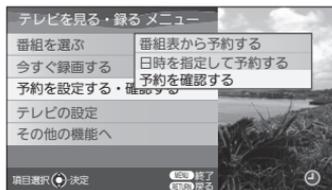
1 [MENU] ボタンを押す



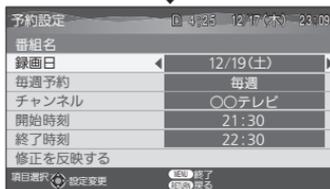
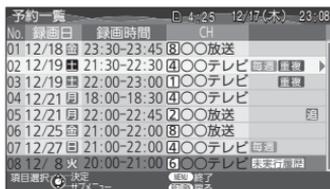
2 ▲/▼ で「予約を設定する・確認する」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「予約を確認する」を選び、中央を押す



4 ▲/▼ で確認 / 変更したい番組を選び、中央を押す



確認し、変更がなければ [MENU] ボタンを押して確認画面を終了してください。

◇ 予約を変更する場合

5 ▲/▼ で変更したい項目を選ぶ

6 ◀/▶ で変更する

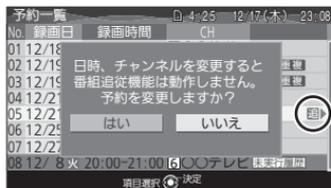
7 ▲/▼ で「修正を反映する」を選び、中央を押す

◇ 予約一覧画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

◇ 予約一覧画面で「追」のある番組の予約内容を確認 / 変更する場合

「追」のある番組は番組表から予約しているので、番組追従機能 (P33) に対応できます。この番組の予約の日時やチャンネルを変更すると、番組追従に対応できなくなります。

この番組を確認 / 変更する場合は、十字キーの ◀/▶ を押して「はい」を選び、中央を押してください。



予約録画を取り消す

●「テレビを見る・録る」モードにしておく (P18)

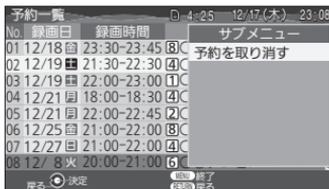
1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「予約を設定する・確認する」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「予約を確認する」を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で取り消したい番組を選び、▶ を押す

5 「予約を取り消す」が選ばれているのでそのまま十字キーの中央を押す

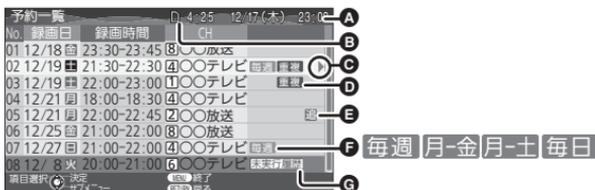


6 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す

◇ 予約一覧画面を消すには
[MENU] ボタンを押してください。

録画・
ビデオ再生

予約一覧画面



A 現在の日時

- 時計は、テレビ放送を受信すると自動的に設定されます。

B 録画可能時間の目安

- 時間と分で表示します。
例えば「□ 1:30」の表示は約1時間30分の録画が可能です。
- 録画可能時間について、詳しくは92ページをお読みください。

C 取り消し / 削除メニューを表示

十字キーの▶ を押すと、サブメニューを表示し、予約の取り消しや未実行履歴の削除ができます。

D 予約録画が重複している場合

E 番組表から予約した番組 (P34)

F 毎週予約の設定がされている場合

G 予約録画の実行時に、録画時間の全部または一部が録画されなかった場合

未実行履歴の番組を選び、十字キーの中央を押すと、録画されなかった理由が1分間表示されます。

- 未実行履歴の番組は最大4件まで表示されます。4件を超える場合は、古いものから自動的に削除されます。

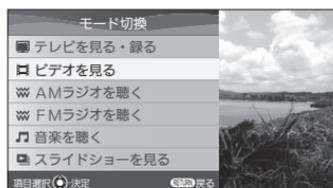
4. 録画した番組を見る

録画した番組を再生します。本機で再生できるビデオファイルについては 38 ページをお読みください。

1 [MODE] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「ビデオを見る」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で見たい録画番組を選び、中央を押す



録画した番組を再生します。番組情報はしばらくすると消えます。

※録画した機器によってはアイコンを表示します。(P38) (本機で録画した場合は表示しません)

- 録画日が不明な場合、ビデオファイルリスト画面で「-----」が表示されます。

■ 音量を調整する

[VOL] ボタンの [-][+] を押す

■ 再生中の十字キー操作



スキップする間隔を設定するには:P41

オートパワーオフ

節電のため、停止状態が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。停止位置の情報はSDカードに記録されるため、SDカードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]側になっている場合 (P87)、停止位置が記録されず、レジュームされません。

◇ 番組の先頭から再生させるときは

- 1 手順 ② のビデオファイルリスト画面で、十字キーの ▶ を押す
- 2 ▲/▼ で「先頭から再生する」を選び、中央を押す

お知らせ

- 一時停止した状態でスキップやサーチをした場合、指を離すと自動的に再生が始まります。

■ 番組情報表示を切り換えるには

録画した番組の放送局名や番組名などの表示 / 非表示を切り換えることができます。

- 表示を消していても電池残量が少なくなると、「」が自動的に表示されます。(P15) この場合、「」表示を消すことはできません。

録画した番組を視聴中に十字キーの ▲ を押す

- 押すたびに表示が変わります。



十字キーを押さなくても、約5秒経過すると、自動的に③の画面に切り換わります。



※ 番組名が長い場合は、番組名全部を表示できません。

A : 「反響音を抑える」または「小声を大きくする」を設定時 (P73)

B : 電池残量表示 (P15)

: ACアダプター使用時

C 十字キーの操作ガイド

- ガイド表示に対応するキーを押すとガイド表示の動作をします。

D プログレスバー  常時表示させるには: P41

- 再生経過時間をバーで表示します。(a: 再生経過時間 b: 記録時間)
- 録画番組にチャプターマーク (P38) が作成されているときは、プログレスバー上に黄色の縦線が表示されます。
- プログレスバーを表示中は、タイマー設定表示 (「」 「」) や予約番組があることを示す表示 (「」) はされません。

■ 録画途中に電波状況が悪い状態があった場合

録画中に電波状況が悪かった区間は録画されません。再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。途中で録画されなかった区間があった場合でも、記録時間の表示は、この区間を含めたものになります。

5. 本機で再生できるビデオファイル

以下の当社製機器で録画したビデオファイルを本機で再生することができます。
これら以外の機器で録画した番組を本機で再生することは保証していません。

(2009年3月現在)

商品名	品番
ポータブルテレビ	SV-ME850V、SV-ME750、SV-ME75
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW950、DMR-BW850、 DMR-BW750、DMR-BR550
DVDレコーダー	DMR-XP25V、DMR-XP15

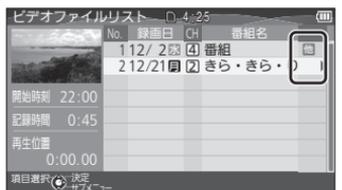
ポータブルテレビ、レコーダー以外の機器については下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>

- 上記レコーダーで録画したファイルを本機で再生することはできますが、本機で録画したビデオファイルを上記レコーダーで再生することはできません。

ビデオファイルリスト画面の右端に録画した機器をアイコンで表示します。

表示なし：ポータブルテレビのSV-ME850V、
SV-ME750で録画したファイル

他：SV-ME850V、SV-ME750以外で録
画した場合



■ 上記レコーダーで録画した場合

チャプターマークに対応

レコーダーで作成されたチャプターマークは本機にも引き継がれるので、スキップ操作で見た場面を探することができます。この場合、「スキップ間隔設定」を「オフ」に設定してください。(P41)「オフ」以外に設定すると、チャプターマーク単位でスキップしません。

- チャプターマークの作成についてはレコーダーの取扱説明書をお読みください。

レジューム機能（続き再生メモリー機能）

レコーダーで録画した番組をレコーダーのHDDからSDカードにダビングし本機で再生すると、レコーダーで見ていた続きから再生されます。

お知らせ

- レコーダーで編集などを行った場合は、チャプターマークが引き継がれなかったり、レジューム機能が動かない場合があります。
- チャプターマークやレジューム位置は多少ずれる場合があります。
- レコーダーでの録画やダビングについてはレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 付属のUSB接続ケーブルを使ってUSB端子付きレコーダーと接続してダビングする場合、接続についてはパソコンと接続する操作と同様です。61ページの「パソコン」を「レコーダー」に読み換えて接続してください。



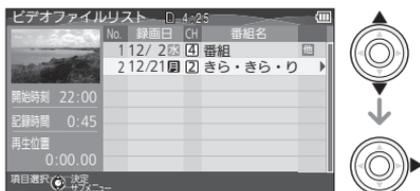
チャプターマーク

6. 録画した番組を保護（プロテクト）する

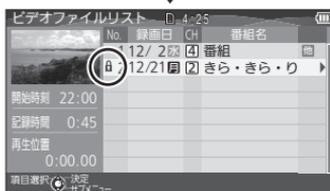
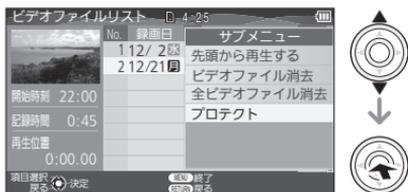
誤って消去しないように、録画した番組を保護（プロテクト）します。
保護していても、SD カードをフォーマットした場合は消去されます。

- 「ビデオを見る」モードにしておく（P36）
- 再生している場合は停止しておく

1 ▲/▼ で保護したい録画番組を選び、▶ を押す



2 ▲/▼ で「プロテクト」を選び、中央を押す



プロテクトした番組は、ビデオファイルリスト画面に「🔒」が表示されます。

■ 解除する場合

- 1 手順①で、十字キーの▲/▼を押して「🔒」表示のある番組を選び、▶を押す
- 2 ▲/▼で「プロテクト解除」を選び、中央を押す

録画・
ビデオ再生

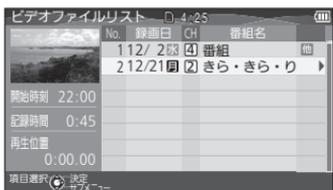
お知らせ

- 電池残量表示が赤色になっているときは、プロテクト/プロテクト解除することはできません。

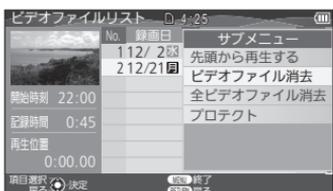
7. 録画した番組を消去する

- 「ビデオを見る」モードにしておく (P36)
- 再生している場合は停止しておく

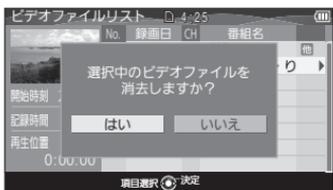
1 ▲/▼ で消去したい録画番組を選び、▶ を押す



2 ▲/▼ で「ビデオファイル消去」または「全ビデオファイル消去」を選び、中央を押す



3 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す



※ 画面例は「ビデオファイル消去」を選んだ場合

お知らせ

- 「プロジェクト」設定されたビデオファイルは消去できません。
- 「全ビデオファイル消去」を選んだ場合、消去中に [RETURN] ボタンを押すと、ボタンを押した以降の番組の消去を中止します。(中止するまでに消去された番組は元に戻すことはできません)
- 電池残量表示が赤色になっているときは、消去できません。

◇ 消去後の録画可能時間について



放送局から送信されるビットレート (単位時間あたりの情報量) は、放送局や番組によって異なります。

本機では、ビットレートの大きい番組 (412 kbps) を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を消去した場合は、消去した番組の録画時間に対して、増加する録画可能時間が少なくなります。

例: 1時間のビデオファイルを消去したにもかかわらず、録画可能時間の表示が45分程度しか増えないなど (時間の差は録画した番組の情報量によって変わります)

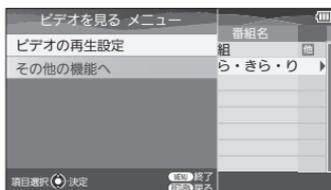
8. ビデオの再生設定 (字幕、二重音声など)

- 「ビデオを見る」モードにしておく (P36)

1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「ビデオの再生設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

- 設定項目を選ぶ : ▲/▼ を押す
- 設定内容を選ぶ : ◀/▶ を押す

- ◇メニュー画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

●お買い上げ時の設定

字幕

字幕放送に対応した番組を再生している場合に、字幕を表示して視聴することができます。

- 非表示 ○言語 1 ○言語 2

※「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がない番組の場合、字幕は表示されません。

二重音声

二重音声に対応した番組を再生している場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。

- 主 ○副 ○主+副

※二重音声に対応していない番組の場合、主音声での視聴になります。

プログレスバー表示

- 表示
再生の経過時間を示すプログレスバーを常に表示します。
- 非表示
プログレスバーはしばらくすると消灯します。

スキップ間隔設定

ビデオ再生中に、十字キーの◀/▶を押してとび越す間隔を設定できます。

- オフ
○30秒 ○10分 ○30分

※レコーダーで録画したファイルの場合、チャプターマーク単位でスキップさせるときは「オフ」に設定してください。「オフ」以外に設定すると、チャプターマーク単位でスキップしません。

お知らせ

- 「字幕」「二重音声」の設定は、「テレビを見る・録る」モードの「テレビの設定」の設定と共通です。

1. ラジオについて

本機では、AM ラジオと FM ラジオを受信して聴くことができます。

■ ラジオのアンテナについて

※ラジオを受信するためのアンテナはテレビのアンテナとは別になります。

AMラジオを聴く場合

本機内蔵のアンテナで受信します。特にアンテナの準備は必要ありません。

FMラジオを聴く場合

FM アンテナコード（付属）またはヘッドホン（市販品）を接続してください。（ヘッドホンのコードは FM ラジオのアンテナの役割をします）

スピーカーで聴く場合

FM アンテナコード（付属）を接続します。

外部アンテナ端子へ
（ $\varnothing 3.5$ mm ミニジャック）



※キャップをヘッドホン端子へ

ヘッドホンで聴く場合

ヘッドホン（別売）を接続します。



ヘッドホン端子へ
（ $\varnothing 3.5$ mm ステレオミニジャック）

浴室など水のかかるところでFMラジオを聴く場合

- 浴室などへ持ち込む前に FM アンテナコードを差し込んでください。



すき間がないように奥まで確実に差し込む

- 使用中に FM アンテナコードを抜き差ししないでください。
- 使用後は、本機（特に端子周り）や FM アンテナコードの水滴をふき取ってから FM アンテナコードを抜いてください。
- ヘッドホンは使用できません。

外部アンテナ端子やヘッドホン端子がさびるなど故障の原因になります。

使用後は FM アンテナコードを浴室から持ち出し、室内で保管してください。

ラジオの受信状態をよくするには

AMラジオ

本機の向きを変えてみてください。



FMラジオ

FM アンテナコードやヘッドホンのコードを伸ばしてください。

お知らせ

- パソコンやテレビ、携帯電話等のデジタル機器の周辺では雑音が入ることがあります。
- ラジオ受信中に本機の DC 入力端子に直接 AC アダプターを接続すると、液晶モニターが点灯し、しばらくの間、音声が聴こえなくなります。

2. ラジオを聴く

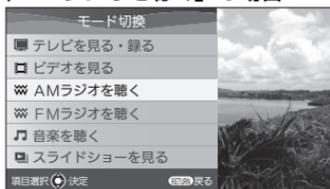
- FMラジオを聴く場合は、FMアンテナコードやヘッドホンを接続しておく(P42)

1 [MODE] ボタンを押す

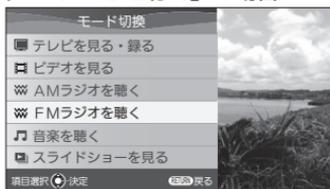


2 ▲/▼ で「AM ラジオを聴く」または「FM ラジオを聴く」を選び、中央を押す

「AM ラジオを聴く」の場合



「FM ラジオを聴く」の場合



「AM(FM) ラジオを聴く」モードにすると、動作表示ランプが約3秒間隔で点滅します。

3 ◀/▶ を押して放送局を選局する



☞ 選局方法について詳しくは：P44

操作を終えると液晶モニターが消灯し、音声も聴こえます。

■ 音量を調整する

[VOL] ボタンの [-] [+] を押す

- 液晶モニターが消灯しているときは、[VOL] ボタンを押しても音量の表示はされません。

ボタンを押しても操作を受け付けない場合

ホールド設定がオンになっていないか確認してください。(P9)

- ボタン操作をしたときに動作表示ランプが約0.5秒間隔で3秒間継続して点滅するとき、ホールド設定がオンであることをお知らせしています。



液晶モニターの表示について

ラジオ受信中は液晶モニターが消灯します。メニュー設定や選局の操作などで液晶モニターが点灯しているときは、ラジオの音声も聴こえなくなります。(液晶モニターが消灯すると聴こえるようになります)

放送局や周波数などを確認するには十字キーの ▲ を押してください。

- ▲ を押して液晶モニター点灯後は・・・
- ▲ を押すたびに、十字キー操作ガイドの表示 / 非表示を切り換えることができます。
- 約3秒経過すると液晶モニターが消灯し、音声を聴くことができます。

お知らせ

- 液晶モニターが点灯するのに少し時間がかかる場合があります。

3. 選局する (プリセット一覧から / マニュアルで)

チューニングモード (選局方法) について

選局方法には「プリセット」と「マニュアル」の2つの方法があります。

プリセット：あらかじめプリセット一覧に登録した放送局から選ぶ

☞ プリセット一覧に登録するには：P46

マニュアル：受信する周波数を変更して受信する



お買い上げ後、はじめて「AM(FM) ラジオを聴く」モードにした場合
お買い上げ時のチャンネル設定 (P16) で、テレビを受信する地域を指定した場合、
チューニングモードは「プリセット」になります。
チャンネルスキャンでチャンネル設定した場合は「マニュアル」になります。

■ チューニングモード (選局方法) を切り換える

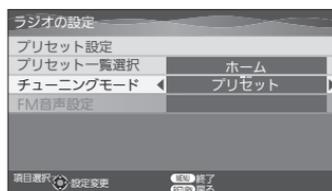
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「ラジオの設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「チューニングモード」を選ぶ



4 ◀/▶ で選局方法を選び、[MENU] ボタンを押して設定を終える

お知らせ

- 「チューニングモード」は「AM(FM)ラジオを聴く」モードで設定を変更しても「FM(AM)ラジオを聴く」モードには反映されません。それぞれのモードで設定してください。

あらかじめ登録したプリセッ ト一覧から放送局を選ぶ

(選局方法：プリセット)

- 「AM ラジオを聴く」または「FM ラジオを聴く」モードにしておく (P43)
- チューニングモードを「プリセット」にしておく (P44)

◇ 1 局ずつ送って放送局を選ぶ

◀/▶ を押して、放送局を選ぶ



◇ 放送局をプリセット一覧から選ぶ

- 1 ▲ を押して液晶モニターを点灯させたあと、
[RETURN] ボタンを押す



- 2 ▲/▼ で放送局を選び、
中央を押す



- ☞ プリセット一覧を変更する : P46
- ☞ プリセット一覧から削除する : P48

周波数を変えながら受信す る放送局を探す

(選局方法：マニュアル)

- 「AM ラジオを聴く」または「FM ラジオを聴く」モードにしておく (P43)
- チューニングモードを「マニュアル」にしておく (P44)

◇ 1ステップずつ周波数を変えて放送局を探す

◀/▶ を押して、周波数を変える



- 押すたびに周波数が1ステップずつ変わります。

AM ラジオ : 9 kHz ずつ

FM ラジオ : 0.1 MHz ずつ

◇ 自動で受信できる周波数を探す (オートチューニング)

◀/▶ を2秒以上押したままにする



自動選局が始まります。本機で受信できる周波数が見つかったと止まります。

- この操作を繰り返してお好みの放送局に合わせてください。
- 自動選局中は、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅して選局中であることをお知らせします。

- ☞ 受信した放送局を
プリセット一覧に登録する : P47

4. プリセット一覧の変更など

「ホーム」「おでかけ」に放送局を登録（変更）する

本機は、「ホーム」「おでかけ」の2種類のプリセット一覧に放送局を登録できます。登録（変更）すると、AM ラジオと FM ラジオの両方のプリセット一覧に登録（変更）されます。

- 変更するたびに放送局を新しく登録し直すので、変更すると「マニュアル」で追加登録した周波数は削除されます。

- 「AM ラジオを聴く」または「FM ラジオを聴く」モードにしておく（P43）

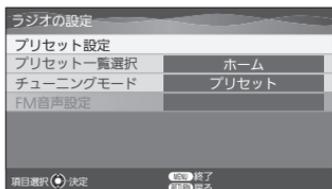
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「ラジオの設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「プリセット設定」を選び、中央を押す



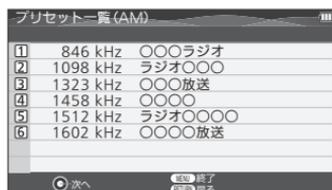
4 ▲/▼ でご使用になる地域を選び、中央を押す



5 ▲/▼ で都道府県を選び、中央を押す



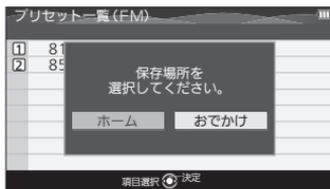
6 登録する AM ラジオの放送局を確認し、十字キーの中央を押す



7 登録する FM ラジオの放送局を確認し、十字キーの中央を押す



8 ◀/▶ で保存場所を選び、中央を押す



ホーム : よく利用する場所 (ご自宅など) の放送局を登録する場合などに設定してください。

おでかけ : 滞在先などでラジオを聴く場合などに設定してください。

お知らせ

- 登録 (変更) 後は、チューニングモードは「プリセット」になります。
- 登録した放送局は、電源を切っても保持されます。
- 「ホーム」「おでかけ」には、放送局をそれぞれ最大 12 局まで登録できます。
- プリセット設定を変更してもテレビのチャンネル設定は変更されません。

🔗 ホーム / おでかけを切り換える : P49

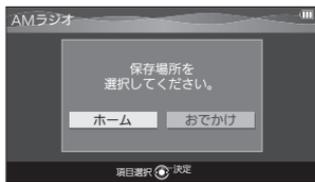
■ 追加登録するには

「マニュアル」で選んだ周波数を 1 つずつプリセット一覧に追加登録することができます。

- 1 チューニングモードを「マニュアル」にする (P44)
- 2 ◀/▶ を押して登録したい周波数に合わせる
- 3 [MENU] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ で「受信中の周波数を登録する」を選び、中央を押す



- 5 ◀/▶ で保存場所を選び、中央を押す



お知らせ

- 追加登録した放送局は、チューニングモードを「プリセット」に切り換えてから (P44) 選んでください。
- 追加登録した場合は、プリセット一覧画面などで放送局名の表示はされません。
- 追加登録した放送局はプリセット一覧の最後に追加されます。

4. プリセット一覧の変更など (つづき)

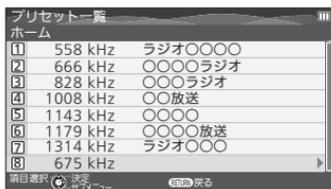
プリセットチャンネルを削除する

- 「AM ラジオを聴く」または「FM ラジオを聴く」モードにしておく (P43)
- チューニングモードを「プリセット」にしておく (P44)

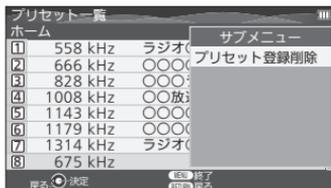
1 ▲を押して液晶モニターを点灯させたあと、**[RETURN]** ボタンを押す



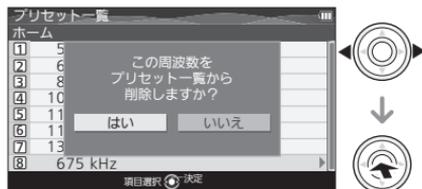
2 ▲/▼ で削除するチャンネルを選び、▶ を押す



3 「プリセット登録削除」が選ばれているので、そのまま十字キーの中央を押す



4 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す



◇ プリセット一覧画面を消すには **[RETURN]** ボタンを押してください。

◇ 削除後のプリセットチャンネル番号について

プリセットチャンネル番号



削除後は、削除したチャンネル以降のプリセットチャンネル番号を繰り上げます。

例：「**[8]** 675 kHz」を削除した場合、削除後の「**[8]**」は「1170 kHz」になります。

お知らせ

- プリセット一覧に登録されたチャンネルが1つしかない場合は、削除できません。

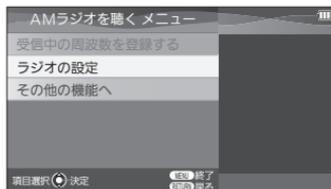
5. ラジオの設定 (ホーム↔おでかけの切換など)

- 「AM ラジオを聴く」または「FM ラジオを聴く」モードにしておく (P43)

1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「ラジオの設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼/◀/▶を押して設定する

- 設定項目を選ぶ : ▲/▼ を押す
- 設定内容を選ぶ : ▶/◀ を押す

- ◇ メニュー画面を消すには
[MENU] ボタンを押してください。

お知らせ

- 「AM(FM) ラジオを聴く」モードで設定を変更しても「FM(AM) ラジオを聴く」モードには反映されません。それぞれのモードで設定してください。

プリセット一覧選択

(「チューニングモード」が「マニュアル」のときは選択できません)

登録したプリセット一覧を切り換えます。

- ホーム
- おでかけ

チューニングモード

選局方法を設定します。

- プリセット
あらかじめ周波数を登録したプリセット一覧から放送局を選びます。
☞ プリセット一覧に登録するには : P46
- マニュアル
手で周波数を変更して放送局を選びます。

FM 音声設定

(「AM ラジオを聴く」モードでは設定できません)

FM ラジオを聴いているときに雑音が多い場合、「モノラル」に設定すると雑音が軽減される場合があります。

- ステレオ (お買い上げ時の設定)
- モノラル
メニュー画面を消すと、周波数表示の右下に「MONO」と表示されます。

※「ステレオ」に設定していても、モノラル配信のときはモノラルで受信します。

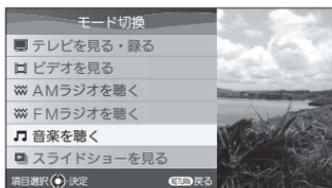
1. 音楽を聴く

- 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく (P10)

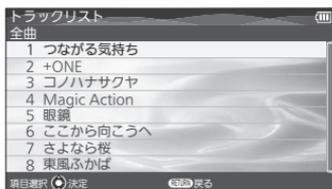
1 [MODE] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「音楽を聴く」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す



音楽を再生します。

(動作表示ランプが約3秒間隔で点滅します)

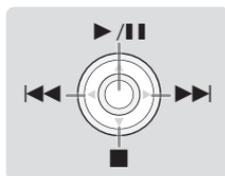
- しばらくすると液晶モニターが省電力のため消灯します。表示を確認するには電源ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

液晶モニターを点灯したままにするには (省電力設定) : P55

■ 音量を調整する

[VOL] ボタンの [-] [+] を押す

■ 再生中の十字キー操作



: 再生 / 一時停止
 : 停止

: スキップ・サーチ (早戻し / 早送り)

スキップ → ボンと押す

- 曲の途中で十字キーの ◀ を押すと、その曲の先頭に戻ります。前の曲に戻る場合はもう一度 ◀ を押してください。

サーチ → 再生中に押したままにする

- 一時停止中に押したままにすると、連続してスキップします。

オートパワーオフ

節電のため、停止状態が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。

- SD カードの交換や、曲を追加/削除して SD カード内の情報が変更されると解除されます。

お知らせ

- 音楽再生中に [RETURN] ボタンを押してトラックリスト(手順 ③ の画面)を表示することもできます。音楽再生画面に戻るには [RETURN] ボタンを数回押してください。
- 本機で音楽の削除はできません。SD-Jukebox やステレオシステムなどで削除してください。

音楽を SD カードに記録するには

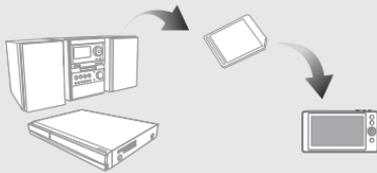
本機で音楽再生するには、音楽を以下のいずれかの方法で SD カードに記録してください。

付属の CD-ROM (SD-Jukebox) を
パソコンにインストールして、
SD-Jukebox を使って転送



当社製ステレオシステムなど、SD
オーディオ規格準拠の機器で記録
した SD カードを本機へ

- 詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。



当社製 SD オーディオ規格準拠の機器

(2009年3月現在)

商品名	品番
コンパクトステレオシステム	SC-HC7、SC-HC5
SD ステレオシステム	SC-SX950、SC-SX850、SC-SX800、SC-SX450、 SC-SX400、SC-PM870SD、SC-PM770SD、 SC-PM730SD、SC-PM710SD、SC-PM670SD、 SC-PM930DVD、SC-PM910DVD、 SC-NS570SD、SC-NS550SD
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW950、DMR-BW930、DMR-BW900、DMR-BW850、 DMR-BW830、DMR-BW800、DMR-BW750、DMR-BW730、 DMR-BW700、DMR-BW200
DVD レコーダー	DMR-XW320、DMR-XW300、DMR-XW200V、 DMR-XW120、DMR-XW100、DMR-XW51、DMR-XW50、 DMR-XW41V、DMR-XW40V、DMR-XW31、DMR-XW30

音楽を聴く

以下の音楽データを SD カードに記録しても本機では再生できません。

- WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラで直接転送した音楽データ
- 他社製のSDオーディオ規格に準拠していないミニコンポなどで記録した音楽データ
- 携帯電話の音楽配信サイトよりダウンロードした、SD オーディオ規格に準拠していない音楽データ



1. 音楽を聴く (つづき)

プレイリストから曲を探して聴く

SD-Jukebox やステレオシステムで音楽を記録すると、プレイリストというアーティスト名やアルバム名ごとに分類される音楽リストを作ることができます。これらのプレイリストから聴きたい曲を選んで聴くことができます。

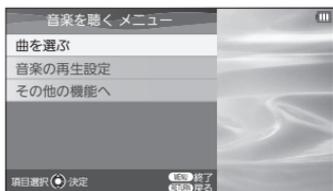
- 本書では、「アーティスト」から曲を探す操作を説明しています。「アーティスト」以外のプレイリストから選曲する場合も「アーティスト」と同様に操作してください。プレイリストの種類については 53 ページをお読みください。

• 「音楽を聴く」モードにしておく (P50)

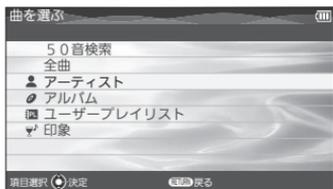
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「曲を選ぶ」を選び、中央を押す



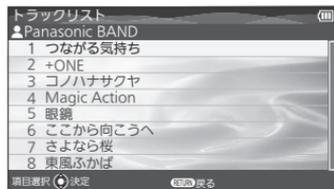
3 ▲/▼ で「アーティスト」を選び、中央を押す



4 ▲/▼ でプレイリストを選び、中央を押す



5 ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す



お知らせ

- プレイリストに分類されていない曲は、アーティストやアルバムなどのプレイリストから曲を探すことができません。「全曲」から曲を選んでください。
- プレイリストの作成方法は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書 (PDF ファイル) やステレオシステムなどの取扱説明書をお読みください。

プレイリストの種類

50音検索

プレイリストを50音から検索して選べます。

全曲 (お買い上げ時の設定)

すべての曲から選べます。

★ 新曲 (プレイリストがある場合のみ表示)

SD-Jukeboxや当社製ステレオシステムで新曲転送された曲を選べます。

♥ マイベスト (プレイリストがある場合のみ表示)

当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。

👤 アーティスト

SD-Jukeboxや当社製ステレオシステムなどでアーティストに分類されたプレイリストから選べます。

📀 アルバム

SD-Jukeboxや当社製ステレオシステムなどでアルバムに分類されたプレイリストから選べます。

👤 ユーザープレイリスト

SD-Jukeboxや当社製ステレオシステムなどでお客様が作成されたプレイリストから選べます。

👤 印象

SD-Jukeboxや当社製ステレオシステムなどで印象に分類されたプレイリストから選べます。

👤 : ウキウキ系 🍷 : 癒し系 🌿 : ゆったり系

👤 : その他の印象プレイリスト

■ 「50音検索」から選曲する

1 52ページの手順⑤で十字キーの▲/▼を押して「50音検索」を選び、中央を押す

2 ▲/▼/◀/▶でプレイリストを選び、中央を押す

行タブを選ぶ : ◀/▶を押す

プレイリストを選ぶ : ▲/▼を押す

行タブ



- 行タブは、あかさたな (ひらがな) …→ ABC (アルファベット) …→ etc. (数字など) の順で表示されます。
- プレイリストが作成されていない行とはび越します。

3 ▲/▼で再生したい曲を選び、中央を押す



お知らせ

- 50音検索機能は、プレイリストに基づいた検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。

2. リピートなどの再生設定をする

- 「音楽を聴く」モードにしておく (P50)

●お買い上げ時の設定

1 [MENU] ボタンを押す



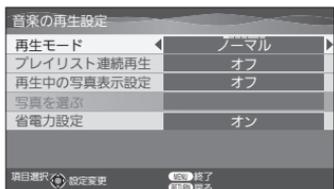
2 ▲/▼ で「音楽の再生設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す

設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す



- 「再生中の写真表示設定」「写真を選ぶ」については 56、57 ページをお読みください。

◇メニュー画面を消すには
[MENU] ボタンを押してください。

再生モード

●ノーマル

選択したプレイリスト内の曲を再生

○1 曲リピート

1 曲を繰り返し再生

○全曲リピート

選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生

○ランダム

選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生

○ランダムリピート

選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に繰り返し再生

○ザッピング

選択したプレイリスト内のすべての曲のサビ部分約 20 秒間を順に繰り返し再生
- サビ情報が含まれていない場合は、曲の先頭部分が約 20 秒間再生されます。
- 十字キーの◀/▶を押したままにして、早戻し、早送りすることはできません。

○イントロ

選択したプレイリスト内の各曲の先頭 10 秒間を順に繰り返し再生

- 「ザッピング」「イントロ」に設定時、モードを切り換えたり、電源を切ると再生モードは「ノーマル」になります。
- ザッピング再生中やイントロ再生中に十字キーの中央を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。
- ランダム再生中は、十字キーの◀を押して再生し終わった曲へ戻ることはできません。

プレイリスト連続再生

○オン

アーティスト、アルバム、ユーザープレイリスト内のプレイリストをまたいで再生 - 「ランダム」「ランダムリピート」に設定していても、プレイリストは順不同に選択されません。

●オフ

選択したプレイリスト内の曲のみを再生

省電力設定

●オン

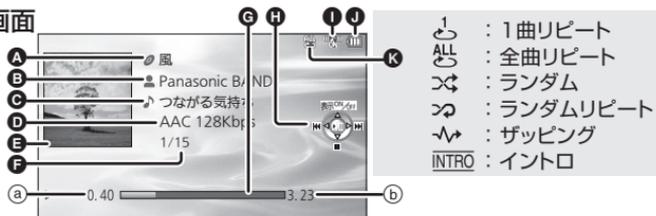
再生中に本機を約 10 秒以上操作しないしていると情報画面が消灯して、電池の消耗を抑えます。

- 電源ボタン以外のいずれかのボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。
- イントロ再生時や、10 秒以下の曲を連続で再生している場合、「オン」に設定していても液晶モニターは消灯しません。

○オフ

液晶モニターを点灯したままにします。

再生中の情報画面



- 「省電力設定」を「オン」に設定時は、しばらくすると表示が消えます。表示を確認するには電源ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

A アルバム名

B アーティスト名

C 曲名

D 圧縮 / 伸張方式、ビットレート

E ジャケット写真

- 作成方法（静止画の添付）については SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。
- プレイリストに登録された写真は本機で表示されません。
- 写真が本機に対応^{*}していない場合は、固定の画像が表示されます。
- 1曲に複数の写真を添付している場合、本機では最初の 1 枚のみが表示されます。

F 現在の曲 / 総曲数

G プログレスバー（再生経過時間）

- ① a : 再生経過時間 ② b : 曲時間

H 十字キーの操作ガイド

- ガイドは再生後しばらくすると消えます。十字キーの ▲ を押すと表示されます。
- ガイド表示に対応するキーを押したり中央を押すと、ガイド表示の動作をします。

I :

「反響音を抑える」を設定時 (P73)

J : 電池残量表示 (P15)

: AC アダプター使用時

K 再生モード (P54)

^{*}本機対応 ファイル形式 : JPEG

画素数 : 96 × 96、640 × 480、160 × 120 ~ 1800 × 1200

3. 音楽再生時に写真を表示する

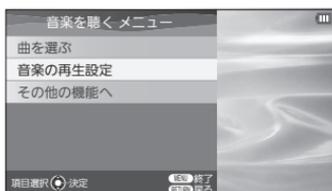
音楽再生を始めると、パソコンのスクリーンセーバーのように、SD カード内の写真を約 6 秒間ずつ順番に表示させることができます。

- 「音楽を聴く」モードにしておく (P50)

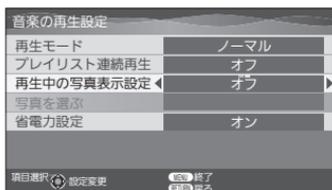
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「音楽の再生設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「再生中の写真表示設定」を選ぶ



4 ◀/▶ で「オン」を選ぶ

◇ メニュー画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

音楽を再生してしばらくすると写真が順番に表示されます。

- 再生可能な写真については 64 ページをお読みください。

■ 写真を表示しないようにする

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ で「音楽の再生設定」を選び、中央を押す
- 3 ▲/▼ で「再生中の写真表示設定」を選ぶ
- 4 ◀/▶ で「オフ」を選ぶ

◇ メニュー画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

お知らせ

- 音楽を停止 / 一時停止した場合は、写真表示が中断します。
- 写真を表示しているときに、十字キーを操作すると、音楽について動作します。写真をスキップさせたりすることはできません。
- スキップ操作をしたりメニュー操作をした後は、一度、音楽の情報画面に変わります。写真のファイルサイズによっては、写真が再表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 写真の表示間隔を変更したり、回転表示の変更はできません。
- 省電力設定が「オン」に設定されている場合でも写真が表示されます。

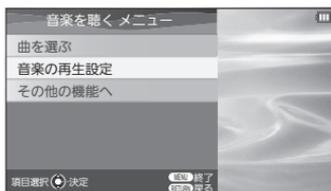
表示する写真を選ぶ

- 「再生中の写真表示設定」を「オン」にしておく (P56)

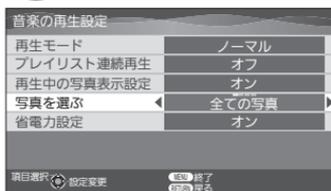
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「音楽の再生設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選ぶ



4 ◀/▶ で再生する写真の分類を選ぶ

全ての写真：

SD カード内のすべての写真を再生

LUMIX のお気に入り

(登録した写真がある場合のみ表示)：

当社製デジタルカメラ LUMIX でお気に入りに登録した写真を再生

お気に入り1、お気に入り2、お気に入り3：
お気に入りに登録した写真を再生

- お気に入りへの登録方法については 68 ページをお読みください。
- お気に入りに写真を登録していない場合は、SD カード内のすべての写真を再生します。

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

4. 音楽記録の準備をする (付属 CD-ROM のインストール)

付属 CD-ROM (SD-Jukebox) の動作環境を確認する

対応パソコン

下記対応の OS (日本語版) がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機

対応 OS (日本語版)

Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 2、3、4

Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2、3

Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1

	Windows 2000/Windows XP	Windows Vista (32 bit OS)
CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上	Intel® Pentium® III 800 MHz 以上
メモリ	256 MB 以上	512 MB 以上 (1 GB 以上を推奨)
ディスプレイ	High Color (16 bit) 以上 画面の解像度800×600ピクセル以上(1024×768ピクセル以上を推奨)	
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量 ● Windows® のバージョンや音声ファイルにより、別途空き容量が必要です。	
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0b 以降、Internet Explorer 6 以降	
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス	
ドライブ	CD-ROM ドライブ (デジタル録音対応 4 倍速以上) ● IEEE 1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。 ● 音楽 CD の作成には CD-R/RW ドライブが必要です。	
インターフェース	USB 端子 ● USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。	
その他	インターネット接続環境 (CDDB 機能を利用する場合に必要) (ブロードバンド環境を推奨)	

お知らせ

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT® および Macintosh には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に "CD-R/RW" のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合の動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

付属 CD-ROM (SD-Jukebox) をインストールする

付属の SD-Jukebox Ver.6.95 をインストールしてください。

SD-Jukebox Ver.6.95 を使うと、音楽に添付したジャケット写真を SD カードに転送することができます。

すでに SD-Jukebox をインストールされている方は

付属 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて、「SD-Jukebox Ver.6.95 LE のインストール」をクリックすると、ファイル削除の確認画面が表示されます。「OK」を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、手順 ③ から操作してインストールしてください。

- インストールし直しても、インストール前に SD-Jukebox に取り込んだ音楽データは削除されません。

- 他に起動しているアプリケーションをすべて終了しておく
- インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しない

1 パソコンの電源を入れ、
Windows を起動する

2 付属 CD-ROM をパソコンの
CD-ROM ドライブに入れる

3 「SD-Jukebox Ver.6.95 LE
のインストール」をクリックする



4 画面の指示に従ってインス
トールを続ける

シリアル番号入力画面では
CD-ROM パッケージの表面に記載されて
いるシリアル番号を入力してください。

- 再インストール時にもシリアル番号が
必要です。CD-ROM パッケージは紛失し
ないように大切に保管してください。
- シリアル番号は必ず半角で入力してく
ださい。

パソコンを再起動すると、インストールは
完了です。

◇ インストーラーが自動的に起動しない場合

1 Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「*:¥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする

- *は CD-ROM ドライブの ID です。
- 以下、画面の指示に従って続けてください。

4. 音楽記録の準備をする (付属 CD-ROM のインストール) (つづき)

SD-Jukebox を起動する

1 デスクトップのアイコン
をダブルクリックする



2 表示モードを選び、クリック
する



通常モード：

SD-Jukeboxのすべての機能をお使いいただけます。

カンタンモード：

SD-Jukebox の主な機能のみを、ステレオシステムのような操作でお使いいただけます。

**音楽の転送方法については、SD-Jukebox
の通常モード編の取扱説明書 (PDF ファイル)
をお読みください。**

■ デスクトップアイコンが表示
されていない場合は

Windows のスタートメニュー→

「すべてのプログラム」→

「Panasonic」→

「SD-JukeboxV6」→

「SD-JukeboxV6」

の順にクリックする

■ SD-Jukebox の取扱説明書
(PDF ファイル) について

SD-Jukebox の取扱説明書は、PDF ファイルとして同時にインストールされます。

- 取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みいただくには、Adobe Reader が必要です。

取扱説明書 (PDF ファイル) を読む

Windows のスタートメニュー→

「すべてのプログラム」→

「Panasonic」→

「SD-JukeboxV6」→

「SD-JukeboxV6 取扱説明書」

の順にクリックする

■ SD-Jukebox のご使用上の
制限

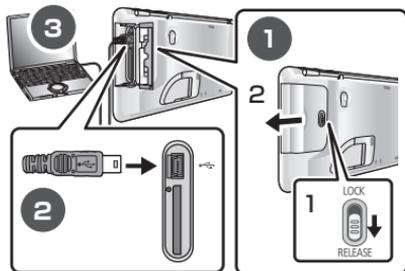
SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のパソコンに移動 / 複製して使用することはできません。
- ご使用の CPU ならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

5. パソコンと接続する

USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

- SD カードを本機に入れておく (P10)
- パソコンを起動させておく



1 カードふたを開ける

- 1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす
- 2 カードふたを引き出し、開ける

2 向きを確かめ、USB接続ケーブルを奥まで確実に差し込む

3 USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

USBリーダライタースとして機能します。

■ USB 接続ケーブルを取り外す

パソコンのタスクトレイにあるアイコン (Windows 2000/Windows XP: [🖱️]、Windows Vista: [🖱️]) をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません)

取り外したあとは、カードふたを閉じてください。

- 1 カードふたを閉じ、まっすぐ押し込む
- 2 [LOCK/RELEASE] つまみを赤色部分が見えなくなるまで [LOCK] 側へ動かす

■ データ保存機能

本機は USB リーダライタースとして機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。

- SD カード内の「PRIVATE」フォルダ、「SD_AUDIO」フォルダ、「SD_VIDEO」フォルダは移動や削除、名前の変更をしないでください。

お知らせ

- 「アクセス中」表示中にSDカードやUSB接続ケーブルを抜き差しすると、SDカード内のデータが消えたり、壊れることがあります。
- パソコンと接続すると充電されますが、満充電になるまで約 16 時間かかります。また、充電中の表示はされません。
- パソコンと接続中は本機を操作することはできません。
- USB接続ケーブルをチャージャースタンドに接続してもパソコンが本機を認識しません。本機のUSB端子に接続してください。
- めれた手でパソコンと接続しないでください。
- 本機に水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってからパソコンと接続してください。
- パソコンと接続中にパソコンを起動 (再起動) したり省電力モードになると、本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを起動してから本機を接続し直してください。
- パソコンと接続中は、パソコンが起動 (再起動) しない場合があります。パソコンを起動するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

1. 写真を順番に再生する (スライドショー)

- 写真を記録した SD カードを本機に入れておく (P10)

1 [MODE] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「スライドショーを見る」を選び、中央を押す



順番に写真の再生が始まり、繰り返し再生します。(スライドショー)
情報表示はしばらくすると消えます。

■ 停止する (シングル表示)

十字キーの ▼ または中央を押す



スライドショーを停止し、シングル表示 (1画面表示) になります。

- 再度、十字キーの中央を押すと再生します。

■ スキップ (戻る・送る) する

再生中に、十字キーの ◀/▶ を押す

シングル表示画面から写真を探す

- シングル表示にしておく

- ◇ 1 枚ずつ写真を探す
十字キーの ◀/▶ を押す
- ◇ スクロール※させて写真を探す
十字キーの ◀/▶ を押したままにする



- 指を離すと、中央に表示されている写真がシングル表示されます。

※ 「スクロール」とは、一度に表示できない場合などに、順番に流れるように表示する機能です。

写真一覧画面から写真を探す

- シングル表示にしたあと、十字キーの ▼ を押して一覧画面にする



- ◇ 複数の写真から選ぶ
十字キーの ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す

- ◇ 一覧画面ごととスクロールさせて探す (16 枚以上写真がある場合)

十字キーの ◀/▶ を押したままにする

- 指を離すと、スクロールが停止します。

■ 写真情報表示を切り換えるには

十字キー操作ガイドなどの表示 / 非表示を切り換えることができます。

- 表示を消していても電池残量が少なくなると、「」が自動的に表示されます。(P15)
この場合、「」表示を消すことはできません。

写真を再生中やシングル表示中に十字キーの ▲ を押す

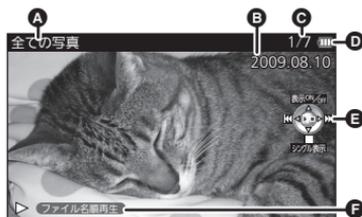


- 押すたびに表示が変わります。



十字キーを押さなくても、約 5 秒経過すると、自動的に ③ の画面に切り換わります。

- A** 再生している写真の分類 (P65)
- B** 写真の撮影日
- C** 現在再生中の写真 / 選んだ分類の写真の総数
- D**  : 電池残量表示 (P15)
 : AC アダプター使用時
- E** 十字キーの操作ガイド
 - ガイド表示に対応するキーを押すとガイド表示の動作をします。



- F** **ファイル名順再生** **ランダム再生** : スライドショーの再生順序 (P70)
シングル表示 : シングル表示 (1 画面表示) 中

お知らせ

- 再生中やシングル表示中にスキップ操作をしたとき、写真のファイルサイズが大きい場合は、写真が切り換わるのに少し時間がかかる場合があります。また、スキップ操作をすると、1 枚ずつ写真を表示するため、連続してスキップさせることはできません。
- スライドショーでは、65 ページで選んだ分類のすべての写真を繰り返し再生します。
- 写真一覧画面などでは写真ファイルに付加されている縮小加工された画像データを利用しています。縮小加工された画像データがない場合は「」が表示されます。スクロール時に画像データの情報読み込みに時間がかかる場合も「」が表示されることがあります。(写真ファイルをパソコンで編集すると縮小加工の画像データが削除されることがあります)
- シングル表示中に [RETURN] ボタンを押して写真一覧画面を表示することもできます。シングル表示画面に戻るには [RETURN] ボタンを数回押してください。
- 再生中に [RETURN] ボタンを押すと停止してシングル表示になります。
- 本機で写真の消去はできません。記録した機器などで消去してください。

1. 写真を順番に再生する (スライドショー) (つづき)

オートパワーオフ

節電のため、写真を再生中やシングル表示以外の画面が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回選んでいた写真から再生します。

- SD カードを交換すると解除されます。

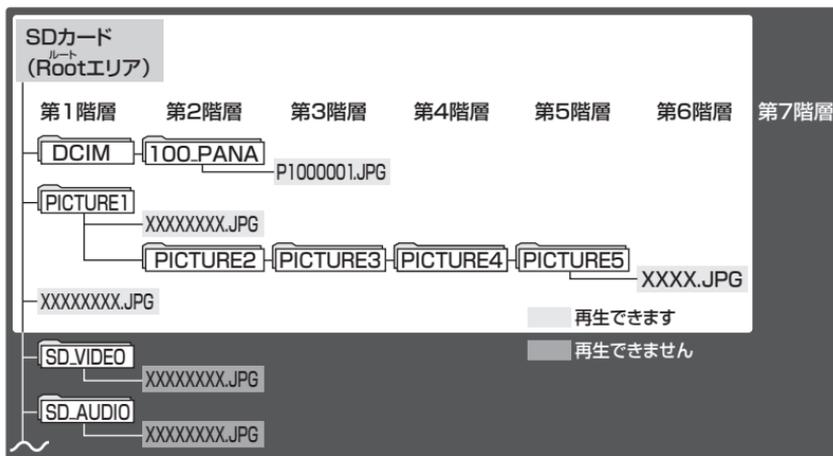
本機で再生できる写真

ファイル形式：	JPEG (JPEG形式でも再生できないものがあります)
画素数：	最大 5120 × 3840 最小 64 × 64
最大ファイルサイズ：	10 MB
対応フォルダ数：	1000 フォルダ
1 フォルダあたりの対応ファイル数：	1000 ファイル

再生対象になる写真のフォルダ構造

SD カードの 6 階層目までにあるファイルを再生できます。

- 「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダ内のファイルは再生できません。



- 「DCIM」「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダは、記録した機器以外で移動や削除、名前の変更をしないでください。記録した機器で正しく認識できなくなる場合があります。

2. 分類された写真を見る (日付検索、フォルダ検索など)

写真は以下の分類別に探すことができます。

全ての写真 (お買い上げ時の設定)

すべての写真を順番に再生します。

日付検索 (P66)

日付別に写真を再生します。

フォルダ検索 (P67)

SDカード内のフォルダを指定して、そのフォルダ内の写真を再生します。

LUMIXのお気に入り (写真がある場合のみ表示)

当社製デジタルカメラ LUMIX でお気に入りに登録した写真を再生します。

- 登録のしかたは LUMIX の取扱説明書をお読みください。

お気に入り1、お気に入り2、お気に入り3

本機でお気に入りに登録した写真から選べます。

- お気に入りの登録、再生のしかたは68ページをお読みください。

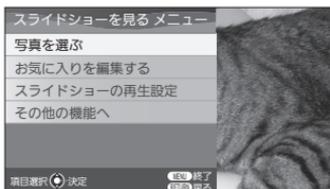
SD カード内のすべての写真を見る

- 写真を記録したSDカードを本機に入れておく (P10)
- 「スライドショーを見る」モードにしておく (P62)

1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「全ての写真」を選び、中央を押す



4 ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す



選んだ写真をシングル表示します。

■ 写真を順番に再生する

手順 ④ まで操作し、写真をシングル表示したあと

十字キーの中央を押す

写真を見る

2. 分類された写真を見る (日付検索、フォルダ検索など) (つづき)

日付別に写真を見る

- 写真を記録した SD カードを本機に入れておく (P10)
- 「スライドショーを見る」モードにしておく (P62)

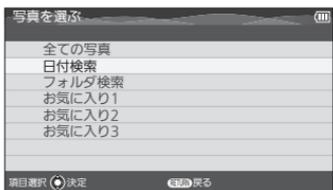
1 [MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「日付検索」を選び、中央を押す



4 ▲/▼/◀/▶ を押して日付を選び、中央を押す

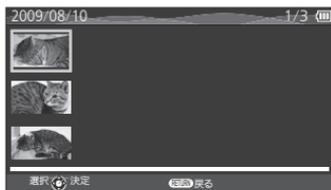


月を選ぶ : ▲/▼ を押す

日を選ぶ : ◀/▶ を押す

- 写真が 1 枚もない月は表示されません。

5 ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す



選んだ写真をシングル表示します。

■ 選んだ日付の写真を順番に再生する

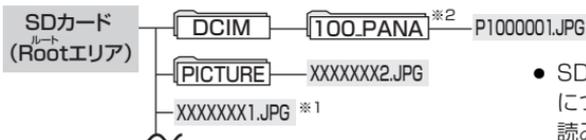
手順⑥まで操作し、写真をシングル表示したあと十字キーの中央を押す

お知らせ

- 日付表示できる範囲は 2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- 写真ファイルの日付データには、撮影日と更新日があり、日付検索では更新日を利用しています。パソコン編集などで更新日が変更された場合、日付検索で表示される日付と、再生画面等で表示される撮影日が異なります。

SD カード内のフォルダを選んで写真を見る

本書では、以下のフォルダ構造の場合に写真を選ぶ操作で説明しています。



- SD カード内のフォルダ構造については 64 ページをお読みください。

- 写真を記録した SD カードを本機に入れておく (P10)
- 「スライドショーを見る」モードにしておく (P62)

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「フォルダ検索」を選び、中央を押す

4 ▲/▼ を押してフォルダを選び、中央を押す

現在開いているフォルダ



Root エリア直下のフォルダが表示されます。

- 現在開いているフォルダ内に写真とフォルダがある場合、「このフォルダ内の写真」が表示されます。

※1 本例の場合、フォルダ構造説明の「XXXXXXX1.JPG」ファイルを選ぶ場合

- 「」で表示されるフォルダは、さらに下の階層にフォルダが存在します。

※2 本例の場合、フォルダ構造説明の「DCIM」フォルダ内にさらに「100_PANA」フォルダが存在

探しているフォルダが見つかるまで手順 ④ を繰り返してください。

5 ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す



選んだ写真をシングル表示します。

■ 選んだフォルダ内の写真を順番に再生する

手順 ⑥ まで操作し、写真をシングル表示したあと

十字キーの中央を押す

写真を見る

3. お気に入りの写真を集める

写真をお気に入り登録しておく、登録した写真だけを順番に再生したり（スライドショー）、写真を探しやすくすることができます。

「お気に入り 1」「お気に入り 2」「お気に入り 3」の3つに分けて登録できます。

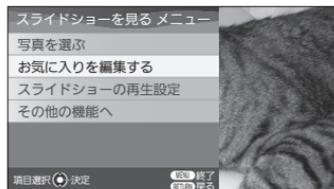
- 本書では、「お気に入り 1」に写真を登録して、写真を見る操作を説明しています。「お気に入り 2」「お気に入り 3」に登録する場合も同様に操作してください。

- 写真を記録した SD カードを本機に入れておく（P10）
- どの分類の写真を登録するか、選択対象となる分類を選んでおく（P65）
- 写真を再生している場合はシングル表示にしておく（P62）

1 [MENU] ボタンを押す

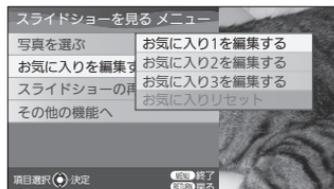


2 ▲/▼ で「お気に入りを編集する」を選び、中央を押す



- 写真を再生している場合は、「お気に入りを編集する」は選べません。[MENU] ボタンを押して一度、再生画面に戻り、停止してシングル表示にしてから操作してください。

3 ▲/▼ で「お気に入り 1 を編集する」を選び、中央を押す



4 ▲/▼/◀/▶ を押して登録する写真を選び、中央を押す



登録した写真には「☆」が表示されます。

- もう一度、十字キーの中央を押すと表示が消え、登録が解除されます。
- 「☆」のついている写真は、当社製デジタルカメラ LUMIX でお気に入り登録した写真です。本機では登録の解除はできません。
- 手順④で「お気に入り 2 を編集する」を選んだ場合は「☆」、 「お気に入り 3 を編集する」を選んだ場合は「☆」が表示されます。

5 [MENU] ボタンを押して登録を終了する

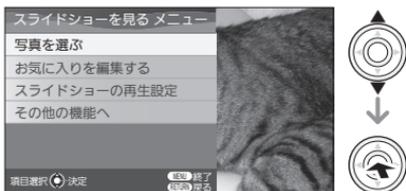
お知らせ

- 同様の操作で、登録したお気に入りを編集（登録の追加 / 解除）することができます。
- それぞれの「お気に入り」に 999 枚まで写真を登録できます。
- 写真によっては登録できない場合があります。

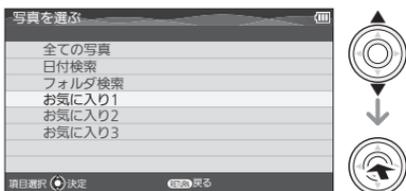
登録した写真を探して見る

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す



3 ▲/▼ で「お気に入り1」を選び、中央を押す



4 ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す



選んだ写真をシングル表示します。

■ 「お気に入り 1」の写真を順番に再生する

手順 ④ まで操作し、写真をシングル表示したあと

十字キーの中央を押す

登録をまとめて解除する

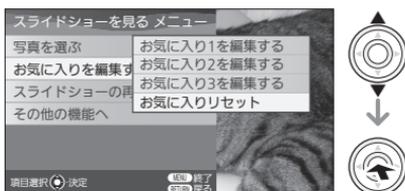
選んだお気に入りから登録した写真をすべて解除します。

- 左記の操作で、登録を解除したいお気に入りを選んでおく
- 写真を再生している場合はシングル表示にしておく (P62)

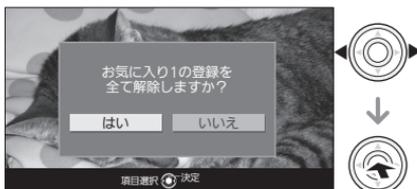
1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「お気に入りを編集する」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「お気に入りリセット」を選び、中央を押す



4 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す



※ 画面例は「お気に入り 1」をすべて解除する場合

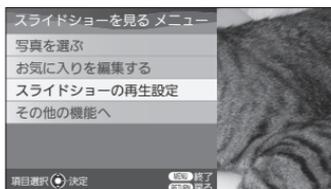
4. スライドショーの再生設定 (順序、BGM (音楽) など)

- 「スライドショーを見る」モードにしておく (P62)

1 [MENU] ボタンを押す



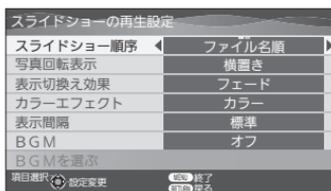
2 ▲/▼ で「スライドショーの再生設定」を選び、中央を押す



3 ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ : ▲/▼ を押す

設定内容を選ぶ : ◀/▶ を押す



◇ メニュー画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

●お買い上げ時の設定

スライドショー順序

●ファイル名順

写真のフォルダ名/ファイル名に付与された文字コード順に再生

○ランダム

順不同にフォルダが選択され、フォルダ内の写真を順不同に再生

– ランダム再生中は、十字キーの◀を押して再生し終わった写真へ戻ることはできません。

写真回転表示

写真を順番に再生する場合やシングル表示する場合に、本機の置きかたにあわせて写真を回転させます。

○オフ

自動的に回転されません。

●横置き

本機を横置きにして見る場合に設定してください。

○縦置き

本機を縦置きにして見る場合に設定してください。

※ 撮影した機器によっては、回転できない場合があります。

表示切換え効果

●フェード

次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。

○モーション

写真を拡大し、上下、左右対角方向に動かしながら再生します。

○スライドイン

画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。

カラーエフェクト

写真を順番に再生する場合やシングル表示する場合に、写真の色を変更できます。

●カラー

○白黒

○セピア

表示間隔

○短い

約 1 秒間隔で写真を切り換えます。

●標準

約 6 秒間隔で写真を切り換えます。

○長い

約 10 秒間隔で写真を切り換えます。

※写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるのに時間がかかる場合があります。

※「表示切換え効果」を「モーション」に設定しているときは「表示間隔」の設定は反映されません。

BGM

「オン」に設定すると、写真を順番に表示するときに、音楽を再生することができます。

○オン

●オフ

※「オン」に設定した場合、写真を停止すると、音楽も停止します。

※「オン」に設定した場合、十字キーを操作すると写真について動作します。音楽をスキップさせたりすることはできません。

BGM を選ぶ

「BGM」の設定を「オン」に設定した場合に再生する曲を選ぶことができます。

(事前に SD カードに音楽を記録しておいてください (P51))

④ 手順③で「BGMを選ぶ」を選び、十字キーの中央を押す

⑤ ▲/▼でプレイリストの種類を選び、中央を押す

- 「全曲」、「新曲」、「マイベスト」を選んだ場合は手順⑦へすすんでください。
- 「50音検索」を選んだ場合は53ページをお読みください。

⑥ ▲/▼でプレイリストを選び、中央を押す

⑦ ▲/▼で再生する曲を選び、中央を押す

※プレイリストの種類について詳しくは53ページをお読みください。

※選んだプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。

1. 各種設定 画質や音質の設定をする

※「AM(FM) ラジオを聴く」モードでは設定できません。

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す
- 3 ▲/▼ で「画質の設定」または「音質の設定」を選び、中央を押す

- 4 ▲/▼/◀/▶ を押して設定する
設定項目を選ぶ : ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ : ▶/▶ を押す
◇ メニュー画面を消すには [MENU] ボタンを押してください。

設定は以下のモードで共通になります。

- 「テレビを見る・録る」モードと「ビデオを見る」モードで共通
- 「音楽を聴く」モードと「スライドショーを見る」モードで共通

(「画質の設定」の「明るさ」はすべてのモードで共通になります)

●お買い上げ時の設定

画質の設定	
「テレビを見る・録る」・「ビデオを見る」モードの場合	「音楽を聴く」・「スライドショーを見る」モードの場合
画質モード	画質モード
<input type="radio"/> スタンダード 標準の画質モード	<input type="radio"/> スタンダード 標準の画質モード
<input type="radio"/> シネマ 映画視聴に向けた画質モード	<input type="radio"/> ソフト 目にやさしい画質モード
<input checked="" type="radio"/> ダイナミック 明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード	<input checked="" type="radio"/> ダイナミック 明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード
明るさ	明るさ
明るさを「-5」から「+5」までの範囲で調整します。 ※お買い上げ時は「±0」に設定されています。	←「テレビを見る・録る」・「ビデオを見る」モードと共通の設定です。
バックライト自動調整	バックライト自動調整
視聴している画像の明るさに応じて液晶モニターの明るさを自動で調整します。 <input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ	設定できません。

音質の設定

「テレビを見る・録る」・「ビデオを見る」 モードの場合	「音楽を聴く」・「スライドショーを見る」 モードの場合
<p>サウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スタンダード 全音域をバランスよくした音質 ○ ミュージック メリハリ感を強調した音質 ○ ニュース 人の声を聴きやすくした音質 ○ トレイン* 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止 ※ヘッドホン使用時のみ設定できます。 	<p>サウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フラット 全音域をバランスよくした音質 ○ ヘビー* 重低音を強調した音質 ○ クリア 高音部を鮮明にする音質 ○ ボーカル ボーカルを強調し、つやを出す音質 ○ トレイン* 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止 ※ヘッドホン使用時のみ設定できます。
<p>反響音を抑える (ヘッドホン使用時は設定できません)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オン 反響音を感じやすい帯域を抑えること によって、室内の壁面などから跳ね返っ てくる反響音の影響を軽減します。 ● オフ 効果をオフします。 ※視聴している音量や室内の環境によっ ては効果が感じられない場合があります。 	<p>反響音を抑える (ヘッドホン使用時は設定できません)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オン 反響音を感じやすい帯域を抑えること によって、室内の壁面などから跳ね返っ てくる反響音の影響を軽減します。 ● オフ 効果をオフします。 ※視聴している音量や室内の環境によっ ては効果が感じられない場合があります。
<p>小声を大きくする (ヘッドホン使用時は設定できません)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフ 効果をオフします。 ○ レベル 1 小さな声を聴き取りやすくします。 ○ レベル 2 レベル1よりさらに小さな声を聴き取り やすくします。 <p>※音がひずむ場合は、「オフ」に設定して ください。</p>	<p>小声を大きくする (ヘッドホン使用時は設定できません)</p> <p>設定できません。</p>

2. 各種設定 タイマーを設定する

時間が経過するとアラーム音でお知らせする「アラーム」と、自動的に電源を切る「オフタイマー」を設定することができます。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「タイマー設定」を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で「アラーム」または「オフタイマー」を選び、中央を押す

5 ◀/▶ を押して時間を設定する

「アラーム」を設定する場合

1分～99分まで、1分単位で設定できます。

「オフタイマー」を設定する場合
以下の設定から選べます。

- オフ
- 30分
- 60分
- 90分

6 ▲/▼ で「スタート」を選び、中央を押す

「アラーム」を設定した場合

画面右下に「🔔」が表示され、秒読みを開始します。

設定した時間が経過すると・・・

アラーム音が1分間鳴ります。

- アラーム音量やアラーム音は変更することはできません。

◇ アラーム音を止めるには
いずれかのボタンを押してください。

「オフタイマー」を設定した場合

画面右下に「🔌」が表示され、電源が切れるまでの時間(分)を表示します。

設定した時間が経過すると・・・

電源が切れます。

- 「今すぐ録画する」を選んで視聴中の番組を録画している場合は、設定した時間になると録画を停止して電源が切れます。

◇ タイマー設定を取り消すには

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す
- 3 ▲/▼ で「タイマー設定」を選び、中央を押す
- 4 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す

お知らせ

- 電源を切ったり、パソコンと接続すると、タイマー設定はキャンセルされます。
- 設定したタイマーの時間を変更することはできません。一度取り消してから設定し直してください。
- アラームとオフタイマーを同時に設定することはできません。

3. 各種設定 カードフォーマットやその他の設定をする

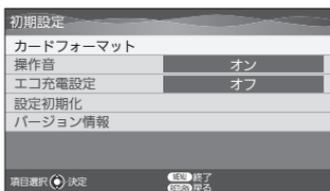
- 録画した番組を再生中や、音楽や写真を再生中に「カードフォーマット」、「設定初期化」をする場合は、停止しておく

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「初期設定」を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で設定項目を選ぶ



●お買い上げ時の設定

カードフォーマット

フォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが失われます。

5 「カードフォーマット」を選び、中央を押す

6 ▲/▼ で「はい」を選び、中央を押す

- 電池残量表示が赤色になっているときは、カードフォーマットすることはできません。

操作音

▲/▼ で設定内容を選ぶ

●オン

操作したときに音でお知らせ

○オフ

操作音を鳴らさない

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

エコ充電設定

▲/▼ で設定内容を選ぶ

○オン

通常充電時の90%の充電

●オフ

通常充電(100%の充電)

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

設定初期化

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

5 「設定初期化」を選び、中央を押す

6 ▲/▼ で「はい」を選び、中央を押す

バージョン情報

本機のファームウェア(制御ソフト)のバージョンを確認することができます。

「バージョン情報」を選び、中央を押す

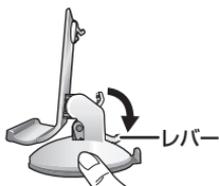
◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

1. 外付けスタンドを使う

外付けスタンドは角度を変えることができます。本機を置いてテレビ放送などを見るときに便利です。

1 外付けスタンドを水平なところに置き、レバーを矢印の方向に下げて固定する



- レバーを下げる前に、吸盤部分が密着するように外付けスタンドを押しつけてください。
- レバーを下げたあと、しっかり固定されていることを確認してください。

2 本機の充電端子を外付けスタンドのくぼみにあわせて載せる

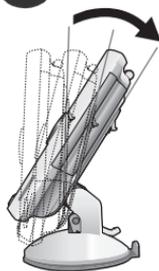


本体スタンドを
折りたたんでおく

3 外付けスタンドに手を添えて「カチッ」と音がするまで本機を押す



4 角度を調整する

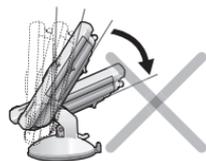


3段階で角度を調整できます。



360度回転できます。

- 回転させるときは、外付けスタンドの背もたれ部と本機を持って回転させてください。



調整範囲を超える強い力を加えて角度を調整しないでください。破損の原因になります。

■ 取り外す

1 本機を外付けスタンドから外す

- ① 本機を手で持つ
- ② ロックレバーを押し取り外す



2 外付けスタンドを外す

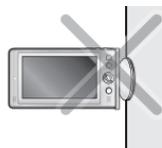
- ① 外付けスタンドのレバーを上げる
- ② 吸盤のつまみを持って外す

- 必ずレバーを上げてください。レバーが下がったままで外そうとすると、外付けスタンドが破損します。
- ガラス面に固定した場合などは、レバーを下げなくても吸着したり、レバーを上げても吸着したままになる場合があります。吸盤のつまみを持って外してください。



お知らせ

- 外付けスタンドは以下の使いかたをしないでください。
本機やスタンドが外れて落下し、本機が破損したり、けがををする恐れがあります。
 - 壁などの垂直面に固定して使用しない
 - 本機を外付けスタンドに取り付けたまま持ち運ばない
 - 凹凸のあるところに設置しない
 - 頭より高いところに設置しない
 - 車のダッシュボードの上に設置しない
- 本機を操作するときは、本機を手で支えながら操作してください。
- 吸盤部分の吸着が悪くなった場合は、吸盤部分についたほこりなどを水で洗い流し、軽くふいてから付けてください。
- 浴室など湿気が多いところで使用後は、浴室から持ち出し、室内に置いてください。
- 長期間使用しないときは、外付けスタンドのレバーを上げて吸着を解除してください。



■ 本機を縦向きにして外付けスタンドに取り付ける

縦に構えて撮影した写真を表示する場合などにお使いいただくと便利です。

- [HOLD] レバーを動かすことができなくなります。ホールドを解除してから (P9) 外付けスタンドに取り付けてください。
- 縦向きで取り付けた場合、ACアダプターの接続やSDカードの出し入れができません。SDカードを本機に入れてから取り付けてください。

②

外付けスタンドに手を添えて「カチッ」と音がするまで本機を押し

①

両端を合わせて載せる



🔗 「写真回転表示」を「縦置き」に設定する：P70

2. こんな表示が出たら

表示	原因・対策
HOLD 設定オンです。 操作には、本機裏面のHOLDを解除する必要があります。	<ul style="list-style-type: none">● ホールド設定がオンになっていて、ボタン操作を受け付けません。本機を操作するにはホールドを解除してください。(P9)
現在、受信できません。 (設定：本体アンテナ) 窓際などで受信可能かご確認ください。(E202)	<ul style="list-style-type: none">● 電波状況が悪いため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。● 外部アンテナ(屋外 UHF アンテナ)と接続している場合は、アンテナ設定が正しくありません。「アンテナ設定」を「外部アンテナ」に設定してください。(P24)
現在、受信できません。 (設定：外部アンテナ) アンテナ設定を切り換えるか接続をご確認ください。(E202)	<ul style="list-style-type: none">● 外部アンテナ(屋外 UHF アンテナ)と接続するときの設定になっています。外部アンテナと接続しないときは「アンテナ設定」を「本体アンテナ」に設定してください。(P24)● 外部アンテナと接続しているときは、接続を確認してください。
現在、正常に受信できません。	<ul style="list-style-type: none">● 電波状況が悪いため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。
現在、受信できません。 (設定：本体アンテナ) 窓際などで受信可能かご確認ください。	<ul style="list-style-type: none">● 窓際などに移動させても受信できない場合は、放送を休止している、あるいは受信するために必要なデータが取得できていないため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。● 外部アンテナ(屋外 UHF アンテナ)と接続している場合は、アンテナ設定が正しくありません。「アンテナ設定」を「外部アンテナ」に設定してください。(P24)
現在、受信できません。 (設定：外部アンテナ) アンテナ設定を切り換えるか接続をご確認ください。	<ul style="list-style-type: none">● 外部アンテナ(屋外 UHF アンテナ)と接続するときの設定になっています。外部アンテナと接続しないときは「アンテナ設定」を「本体アンテナ」に設定してください。(P24)● 外部アンテナと接続しているときは、接続を確認してください。● アンテナ設定や接続を確認しても受信できない場合は、放送を休止している、あるいは受信するために必要なデータが取得できていないため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。

表示	原因・対策
番組データがありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組表を受信できません。電波状況がよくなるように、本体アンテナの角度や本機の向きを変えてみてください。 ● 放送を休止している場合は、電波状況がよくても番組表を受信できない場合があります。
現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネル設定をしたときと異なる地域で受信しています。この場合、予約録画することはできません。チャンネル設定し直してください。(P22)
チャンネル設定が異常のためチャンネル一覧を消去します。予約録画も取り消されます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録したチャンネルや録画の予約が消去されます。もう一度チャンネル設定をしてください。また、録画の予約をしていた場合は、もう一度予約し直してください。
受信が安定してから録画を実行してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状況が悪く、録画を開始することができません。電波状況がよくなるように、本体アンテナの角度や本機の向きを変えて受信を安定させてから、再度「今すぐ録画する」を選んでください。(P27)
この番組は録画することができません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 有料放送など、放送局側で録画を禁止している番組は録画することができません。
最大ファイル数を超過しています。不要なビデオファイルを消去後、録画を実行してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 枚の SD カードに録画できる番組数は、SD カードの容量にかかわらず最大 99 番組までです。それ以上録画したい場合は不要なビデオファイルを消去してから (P40) 録画してください。
再生できるビデオファイルがありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できるビデオファイルについては 38 ページをお読みください。
再生できないビデオファイルです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画時に電波状況が悪かった場合や、録画中に SD カードが抜かれた場合は、再生できないビデオファイルが作成されることがあります。
リスト登録がありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 選んだ種類のプレイリストが作成されていません。プレイリストの作成方法は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書 (PDF ファイル) やステレオシステムなどの取扱説明書をお読みください。
再生できる音楽トラックがありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できる音楽は、SD オーディオ規格に準拠したものです。SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどで記録してください。(P51)
再生できない音楽トラックです。	

2. こんな表示が出たら (つづき)

表示	原因・対策
再生できる 写真ファイルがありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できる写真のファイル形式は JPEG です。本機で再生できる写真について、詳しくは 64 ページをお読みください。
再生できない 写真ファイルです。	
写真ファイル異常のため、 再生を継続できません。 ファイルを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生を継続できません。再生を継続するには、パソコンや他の機器で写真ファイルを確認し、消去してください。
このモードでは 使用できないカードです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作権保護機能に対応していないSDカードは「テレビを見る・録る」モード、「ビデオを見る」モード、「音楽を聴く」モードでは使用できません。付属のSDカードなど、著作権保護機能に対応したSDカードを使用してください。
サポート外フォーマットの カードです。	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows 標準のフォーマット機能などでフォーマットしたSDカードは使用できません。SD-Jukeboxでフォーマットしてください。本機でフォーマットすることもできます。(P75)
カードを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードを取り出し、再度入れてみてください。(P10) ● マルチメディアカードは使用できません。 ● SD規格に準拠していないカードは使用できません。(P87)
カードがロックされています。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。書き込み禁止スイッチを元に戻してください。(P87)
エラーが発生したため、 電源をオフします。 再度電源を入れて ご使用ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れ直してください。繰り返し表示される場合は、お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」(P99～101)にお問い合わせください。
本機の温度が高い(低い)ため 充電機能などが動作しません。 常温でご使用ください。*	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲温度 5℃～35℃で充電してください。周囲温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなる場合があります。また充電できない場合もあります。(P15)
ACアダプターの電圧が異常です。 故障の可能性がありますので 修理窓口にご相談ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」(P99～101)にお問い合わせください。
電池が故障している 可能性があります。 修理窓口にご相談ください。*	

*動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

3. 故障かな!?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないようにお気をつけください。
故障や誤動作の原因になります。

こんなときは	ここを確かめてください
電源が入らない 操作できない 電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">● ホールド設定がオンになっていませんか？ (P9)● 電池が消耗していませんか？ (P15) 電源を切っても予約録画が始まると、電池を消耗します。 →電池を十分に充電するか (P14)、AC アダプターを接続して (P12、13) 操作してください。● かばんの中などで、ボタンが押されて電源が切れていませんか？ →ホールド設定をオンにしてください。(P9)● オフタイマーが設定されていませんか？ →オフタイマーを設定している場合は画面右下に「」が表示されています。設定を「オフ」にしてください。(P74)
電源が切れない 正常に動作しない	<p>クリップのようなものを使って [RESET] ボタンを押してください。(P9)</p>
充電できない 充電しても電池持続時間が短い	<ul style="list-style-type: none">● 周囲の温度が極端に低くまたは高くありませんか？ →電池の充電は周囲温度 5℃～35℃で行ってください。(P15)● はじめての充電や長時間未使用後の充電では電池持続時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。● 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。電池の交換は、お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」(P99～101) にお問い合わせください。● SD カードによっては、電池持続時間が極端に短い場合があります。付属の SD カードで試してください。
本機が SD カードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">● Windows 標準のフォーマット機能などで SD カードをフォーマットしませんでしたか？ →SD-Jukeboxでフォーマットしてください。本機でフォーマットすることもできます。(P75)● 付属の SD カードを本機に入れて試してください。
本体が熱い	<ul style="list-style-type: none">● 充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。
テレビ放送を正常に受信できない	<ul style="list-style-type: none">● 「アンテナ設定」を正しく設定していますか？ →外部アンテナ (屋外 UHF アンテナ) と接続して見る場合と、接続せずに本体アンテナで見る場合とで「アンテナ設定」の切り換えが必要です。(P24)● 画面にメッセージが表示されているときは、78 ページをご確認ください。

3. 故障かな!?(つづき)

こんなときは	ここを確かめてください
録画ができていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場合には録画ができない、または正しく録画がされません。 <ul style="list-style-type: none"> — 録画開始時刻に SD カードが入っていない場合 — 本機に入れた SD カードが録画可能な SD カードでない場合 <ul style="list-style-type: none"> ● SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている ● 録画に十分な録画可能時間が残っていない ● 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されている ● 認識できないSDカード(サポート外のフォーマットなど) — 電池残量がなくなった場合 — パソコンと接続している場合 — 電波状況が悪い場合 — 予約録画の時間が重なっている場合
予約録画した番組の最後の部分が録画されていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じときは、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。
録画した番組が正常に再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できるビデオファイルですか？ →本機での再生に対応した機器を使って録画してください。(P38) ● 録画中に電波状況が悪くなると、画面が乱れた状態で録画されます。また、電波状況が悪くて受信できない区間があった場合、この区間は録画されないのので、再生するとこの区間をとび越して再生されます。
ラジオに雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● チャージャースタンドに本機を装着し、パソコンと接続してラジオを聴いていませんか？ →チャージャースタンドは AC アダプターと接続してご使用ください。(P12) ● パソコンやテレビ、携帯電話等のデジタル機器が近くにありませんか？ ● AM ラジオを聴く場合、ステンレスやホーローなど金属製の浴槽や机の上に直接本機を置くと、ラジオの感度が悪くなることがあります。この場合、付属の外付けスタンドを使用してください。(P76)
音楽再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽データはSDオーディオ規格に準拠していますか？(P51) ● SD-Jukebox を使って音楽データを転送しましたか？ →WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機で再生できません。 →D-snap[※]でライン録音したファイルは本機で再生できません。
1 曲目から順番に再生しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「再生モード」が「ランダム」や「ランダムリピート」になっていませんか？(P54) ● レジューム機能が働いていませんか？(P50)

※ D-snap とは、当社製 SD オーディオプレーヤーのことです。

こんなときは	ここを確かめてください
音楽再生時に <ul style="list-style-type: none"> ● 音が途切れる ● 音がとぶ ● 雑音が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● SD-JukeboxからSDカードに転送した音楽データは正常ですか？ →SD-Jukeboxに取り込んでいる音楽を確認してください。 ● 付属のSDカードに音楽を記録して試してください。 ● SDカードをSD-Jukeboxでフォーマットしてから音楽を転送すると、改善される場合があります。本機でフォーマットすることもできます。(P75)
50音検索が正しくできない	<ul style="list-style-type: none"> ● プレイリストが半角文字で正しく入力されていますか？ →SD-Jukeboxでプレイリスト(半角)欄が正しく入力されているか確認してください。詳しくはSD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。
付属CD-ROMのインストールができない	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いのパソコンがCD-ROMの動作環境に対応していますか？(P58)
SD-JukeboxがSDカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ● USB接続ケーブルを抜き差ししてください。 ● SD-Jukebox Ver.5.x以下を使用していないですか？ →付属のSD-Jukebox Ver.6.95を使用してください。 ● お使いのパソコンのUSB端子は正常に動作していますか？ →他のUSB機器を接続して確認してください。 ● USBハブや延長ケーブルを使用してパソコンに接続していませんか？ →付属のUSB接続ケーブルを直接パソコンに接続してください。 ● SDカードを認識しない場合は、付属のSDカードで試してください。 ● 著作権保護機能に対応していないUSBリーダーライターではSD-Jukeboxで認識できません。付属のUSB接続ケーブルを使って本機をパソコンに接続してください。
音楽データを他のパソコンに移動/コピーできない	<ul style="list-style-type: none"> ● SD-JukeboxやステレオシステムなどからSDカードに記録した音楽データには暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。SDカードに記録した音楽データは他のパソコンに移動/コピーすることができません。
SD-Jukebox Ver.6.95の取扱説明書(PDFファイル)が見られない	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe Readerがお使いのパソコンにインストールされていますか？ →Adobe Readerが必要です。アドビシステムズ社のホームページ(http://www.adobe.com/jp/)からAdobe Readerをダウンロードしてください。

4. Q&A (よくあるご質問)

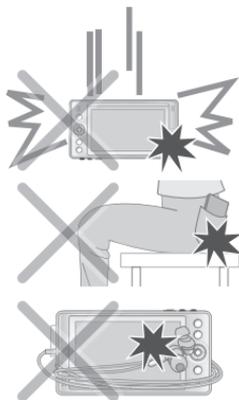
Q (質問)	A (回答)
地上デジタル放送(ワンセグ)を視聴するのに利用料金はかかるか?	本機での地上デジタル放送(ワンセグ)の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHKの受信料以外の利用料金はかかりません。(2009年3月現在) 詳しくは下記ホームページをご覧ください。 社団法人 デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp
どの機器で録画した番組を再生できるか? レコーダーなどの他機で録画した番組を本機で再生できるか?	当社製ポータブルテレビやレコーダーで録画した番組を再生できますが、対応していないものもあります。 本機で再生できるビデオファイルについては38ページをお読みください。
他社製のSD対応ミニコンポで録音したSDカードを本機で再生できるか?	SDオーディオ規格に準拠していない他社製ミニコンポで録音した場合は、本機で再生できません。
音楽サイトからパソコンや携帯電話にダウンロードした音楽を本機で再生できるか?	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンにダウンロードした音楽の場合、著作権保護された音楽データはSD-Jukeboxにファイルインポートできないので再生できません。 ● 携帯電話にダウンロードした音楽がSDオーディオ規格に準拠していない場合、本機で再生できません。
Windows Media Playerで録音した音楽を本機で再生できるか?	SD-Jukeboxを使ってファイルインポートすると、再生できます。(著作権保護された音楽データはファイルインポートできません) ファイルインポートについて詳しくは、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。
D-snap [※] で聴いていたSDカードの音楽を本機で再生できるか?	再生できます。(ただし、マーク登録再生、ボイス録音ファイル、ライン録音ファイルは再生できません)
パソコンに、以前のSD-Jukeboxが入っているが、付属のCD-ROMのインストールが必要か? 音楽データはどうなるか?	SD-Jukebox Ver.6.9以下をお使いの場合は、付属のSD-Jukebox Ver.6.95のインストールをおすすめします。SD-Jukebox Ver.6.9以下では、音楽再生時にジャケット写真を表示することができません。 再インストールしても音楽データは削除されません。
どんなSDカードが使えるか?	SD規格に準拠したSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードに対応しています。詳しくは87ページをお読みください。
音楽や写真の削除はどうしたらよいか?	本機で音楽や写真の削除はできません。 音楽の場合はSD-Jukeboxやステレオシステムなどを使って、写真の場合は記録した機器などで削除してください。
製造番号はどこにあるか?	本体スタンドを開いたところに記載しています。(P9)

※ D-snap とは、当社製 SD オーディオプレーヤーのことです。

5. 使用上のお願い

本機について

- 本機を落としたり、ぶついたりしないでください。
また、本機に強い圧力をかけないでください。
 - 強い衝撃が加わると、液晶モニターや外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
 - 本機を入れたかばんを落としたり、ぶついたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
 - ズボンのポケットに入れたまま座らないでください。
 - ヘッドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れて、外から大きな力を加えないでください。液晶モニターの破損につながります。
- 浴室など湿気の多い場所に放置しないでください。
- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。



お手入れ

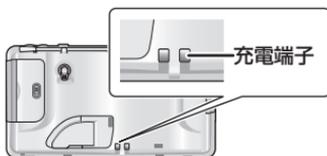
本機の電源を切り、誤操作防止のためホールド設定をオンにしてから（P9）乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。

充電端子のお手入れについて

定期的に、本機の充電端子を綿棒や柔らかい布などでふいてください。

特に本機に水滴が付いているときは、充電端子に水滴が残らないよう、ていねいにふきとってください。



— このマークがある場合は —



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

その他

5. 使用上のお願い (つづき)

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。

これらの点は、SD カードの映像には記録されませんのでご安心ください。

- 液晶モニターのお手入れは、乾いた柔らかい布のようなもの（眼鏡ふきなど）でふいてください。乾いた布で強くこすると液晶モニターに傷が付くことがありますのでお気をつけください。

AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（AC アダプターのプラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- 付属の AC アダプターは 100 V 専用です。海外での使用はできません。
- 使用後は、必ず AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約0.5 Wの電力を消費しています）
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

SD カードについて

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SDカードが破壊される恐れがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 本機で使用できる SD カードは (2009 年 3 月現在)

SD メモリーカード (8 MB ~ 2 GB)	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB)	SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたもの
miniSD カード	本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。(P10)
microSDカード/microSDHCカード	

- SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(必ずお使いの機器の説明書をお読みください)
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB 以上のカードは SDHC ロゴのある (SD 規格準拠) カードのみ使用できます。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- SD カードのスピードクラス (連続的な書き込みに関する速度規格) に関係なく、上記の SD カードを使用できます。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 8 MB など容量の小さい SD カードでは、1 枚の SD カードに音楽の記録と録画の両方ができない場合があります。

■ SD カードの書き込み禁止スイッチ

SD カードは本体に書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。



その他

6. 本機を廃棄するときのお願い

ご使用済み製品の廃棄に際しては、本機に内蔵している電池を取り出し、電池のリサイクルにご協力ください。電池の取り出しかたについては 89 ページをお読みください。

- 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

 危険	<p>本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない</p> <p>取り出した充電式電池は充電しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 火への投入、加熱をしない● くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない● ⊕ と ⊖ に金属などを接触させない● ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない● 電子レンジやオープンなどで加熱しない● 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない● 水中への投入をしない <p>液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 万一、液もれが起こったら素手で液をさわらないでください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
 警告	<p>取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない</p> <p>誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none">● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

本機の使用電池

名称：リチウムイオン (Li-ion) 充電式電池

公称電圧：DC 3.7 V

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>



充電式

リチウムイオン

Li-ion00

電池使用

■ 電池の取り出しかた

電池を使いきってから分解してください。

この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。
分解した場合、修復は不可能です。

- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。(ドライバーは付属していません)
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。(P99)

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

1 本体アンテナを立てる

2 ねじを外す(9本)

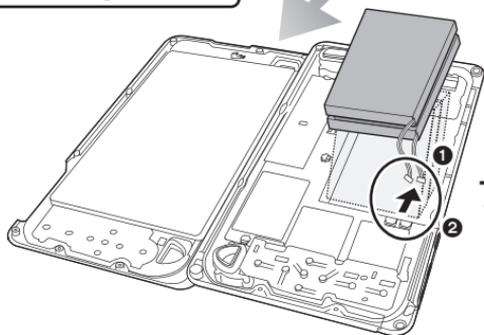
- ねじを外すには、プラスドライバーをお使いください。

3 カードふたを開ける

4 カードふたを開けたところのねじを外す(2本)

5 本体アンテナを戻す

6 本機裏面を開ける



7 電池を取り出す

① 電池を起こす

② コードを持ち、矢印の方向に引き抜いて(2カ所)、電池を取り出す

使用済み電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

その他

7. 仕様

電源	DC 3.7 V (内蔵電池使用時) / DC 5.0 V、500 mA (AC アダプター使用時)
消費電力	2.0 W

充電時間 (周囲温度25℃で充電時)	通常充電：約 8 時間 エコ充電：約 6 時間 ● 充電は周囲温度 5℃～35℃で行ってください。	
推奨動作温度	0℃～40℃	
液晶ディスプレイ (アスペクト比 16:9)	5V 型 ^{※1} 画素数：横 480 × 縦 272	
画面寸法	幅 110.7 mm、縦 62.4 mm、対角 127.1 mm	
スピーカー	280 mW+280 mW (8 Ω)	
接続端子	ヘッドホン 端子	3.0 mW+3.0 mW (16 Ω 時) φ3.5 mm ステレオミニジャック
	USB 端子	USB 2.0 (High Speed)
	外部アンテナ 端子	φ3.5 mm ミニジャック
本体寸法	幅 166.0 mm × 高さ 90.2 mm × 奥行き 21.7 mm (突起部除く)	
最大外形寸法	幅 166.0 mm × 高さ 91.5 mm × 奥行き 23.8 mm (JEITA) 幅 166.0 mm × 高さ 88.1 mm × 奥行き 53.4 mm (本体スタンド使用時)	
質量	約 296 g	
防水	保護等級：IPX6/IPX7 相当	
対応記録メディア	SD メモリーカード (8 MB～2 GB) SDHC メモリーカード (4 GB～32 GB まで)	

※1 V型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

テレビ

ワンセグテレビ放送を視聴することができるのは、日本国内のみです。

受信チャンネル	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス (ワンセグ) : UHF13 ch～62 ch (データ放送、緊急警報放送受信非対応)
連続録画時間	最大 8 時間 (AC アダプター使用時)
録画番組数	SD カード容量にかかわらず 1 枚あたり最大 99 番組
予約録画番組数	最大 12 番組

ラジオ

受信周波数帯域	AM : 522 kHz～1629 kHz (9 kHz ステップ) FM : 76.0 MHz～90.0 MHz (0.1 MHz ステップ)
---------	---

音楽

サンプリング周波数 ^{※2}	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式
チャンネル数	2 ch ステレオ

※2 対応データ形式についての詳しい説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。

写真

再生可能ファイル形式	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠
画素数	64 × 64 ~ 5120 × 3840
最大ファイルサイズ	10 MB

電池持続時間

※電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

	明るさ「-5」	明るさ「±0」	明るさ「+5」
テレビを見る	約 11 時間	約 9 時間	約 7 時間
テレビを録画する	約 11 時間	約 9 時間	約 7 時間
ビデオを見る	約 12 時間	約 10 時間	約 8 時間
AM ラジオを聴く	約 25 時間	約 25 時間	約 25 時間
FM ラジオを聴く	約 25 時間	約 25 時間	約 25 時間
音楽を聴く	約 14 時間	約 14 時間	約 14 時間
スライドショーを見る	約 12 時間	約 10 時間	約 8 時間

- お買い上げ時、「明るさ」は「±0」に設定されています。設定を下げることによって、電池持続時間を延ばすことができます。（「明るさ」を設定するには 72 ページをお読みください）
- 「バックライト自動調整」が「オン」のときは (P72)、電池持続時間が短くなる場合があります。
- 上記時間は、通常充電で充電した場合です。エコ充電で充電した場合の電池持続時間は、通常充電時の約 90%の時間となります。

(電池持続時間測定条件)

テレビを見る	放送波受信、本体アンテナ受信感度：高感度
テレビを録画する	視聴録画時、本体アンテナ受信感度：高感度、付属 SD カード使用
ビデオを見る	付属 SD カード使用
共通の設定	画質モード：ダイナミック、音量：13、スピーカー使用、 反響音を抑える / 小声を大きくする：オフ、サウンド：スタンダード、 バックライト自動調整：オフ

AM(FM) ラジオを聴く	音量：13、スピーカー使用
---------------	---------------

音楽を聴く	再生ファイル：ビットレート 96 kbps の AAC、付属 SD カード使用、 省電力設定：オン、音量：13、スピーカー使用、 反響音を抑える：オフ、サウンド：フラット、再生中の写真表示設定：オフ
-------	---

スライドショーを見る	画質モード：ダイナミック、BGM：オフ、付属 SD カード使用
------------	---------------------------------

7. 仕様 (つづき)

AC アダプター

入力	AC 100 V、50/60 Hz、9 VA
出力	DC 5.0 V 600 mA

バッテリーチャージャースタンド

出力	DC 5.0 V 500 mA
----	-----------------

リチウムイオン内蔵電池

電圧 / 容量 (最小)	DC 3.7 V 2900 mAh
--------------	-------------------

録画可能時間の目安 (ビットレート 412 kbps で算出)

SD カード容量	録画可能時間 ^{※3}
128 MB	約 41 分
256 MB	約 1 時間 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分
1 GB	約 5 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分
4 GB	約 21 時間 19 分
6 GB	約 32 時間 25 分
8 GB	約 43 時間 24 分
12 GB	約 65 時間 28 分
16 GB	約 87 時間 20 分
32 GB	約 175 時間 12 分

※3 放送局から送信されるビットレート (単位時間あたりの情報量) は、放送局や番組によって異なります。

本機では、ビットレートの大きい番組 (412 kbps) を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を録画する場合は、録画可能時間よりも長く録画できます。

例：録画可能時間の表示が 45 分の場合でも、1 時間録画できたなど (時間の差は録画した番組の情報量によって変わります)

— SDカードにデータが入っている場合は、録画時間は短くなります。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
(表示できない文字は「_」と表示されます)
表示可能文字 日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応 (WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR^{※4}には対応していません)

※4 MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで録された音声を含む形式のことです。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

安全上のご注意

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

危険



水のかかるおそれのある場所で、AC アダプターを使わない

浴室、キッチン、洗濯場などで使用すると感電の原因になります。



本機は充電式電池を内蔵しています

- 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない

- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない

発熱・発火・破裂の原因になります。

その他

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、AC アダプターを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



分解禁止

分解、改造をしない

(製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機の金属部や AC アダプターのプラグ、アンテナケーブルに触れない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

 **警告**

歩行中や乗り物を運転中はテレビなどの映像を見ない

交通事故の原因になります。



乗り物を運転中に操作したりヘッドホンで使わない

交通事故の原因になります。

●歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。



ACアダプターのプラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●プラグの修理は、販売店にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



内部に水などの液体をかけたりぬらしたりしない

本機を水のかかるところで使用するときは、カードふた、端子ふたを確実に閉めてください。本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

警告



ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとるプラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。



ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

注意



水のかかるおそれのある場所で、バッテリーチャージャースタンドを使わない

内部に水が入ると故障の原因になることがあります。

- チャージャースタンドは防水仕様ではありません。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機を手にとって長時間使用しないでください。低温やけど[※]の原因になることがあります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠ 注意



異常に温度が高くなる場所に置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。



スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

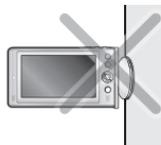
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。



外付けスタンドを壁などの垂直面に固定して使用しない

本機や外付けスタンドが落下して、けがや破損の原因になることがあります。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



付属の AC アダプター、バッテリーチャージャー、スタンドを使う

付属以外の AC アダプターやバッテリーチャージャー、スタンドで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。



長期間使わないときや、お手入れのときは、AC アダプターを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- メモリーカードは、保護のため取り出しておいてください。

ACアダプター
を抜く

8. 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間：

お買い上げ日から本体1年間

(但し、CD-ROM 内のソフトウェアの内容は含みません)

■ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このポータブルテレビの補修用性能部品の、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みの上、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ポータブルテレビ
品番	SV-ME850V
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
<http://panasonic.jp/support/>

修理に関するご相談

パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)  **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口にご連絡ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**
パナは 365日
 ■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
 FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただきます。

北 海 道 地 区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	函館	函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011				

その他

8. 保証とアフターサービス(よくお読みください)(つづき)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただきます場合がございます。

東 北 地 区					
青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎(017)775-0326	岩手	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎(019)645-6130	山形	山形市平清水1丁目 1-75 ☎(023)641-8100
秋田	秋田市外旭川 字小谷地3-1 ☎(018)868-7008	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎(022)387-1117	福島	郡山市亀田1丁目 51-15 ☎(024)991-9308

首 都 圏 地 区					
栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎(028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5822
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	千葉	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎(043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎(045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎(029)864-8756	東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9700	新潟	新潟市東区東明 1丁目8-14 ☎(025)286-0180

中 部 地 区					
石川	金沢市玉鉾2丁目 266番地 ☎(076)280-6608	長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	岐阜	岐阜市中鶯4丁目42 ☎(058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎(076)424-2549	静岡	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎(054)287-9000	高山	高山市花岡町3丁目 82 ☎(0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎(0776)21-0622	愛知	名古屋市長徳区 塩入町8-10 ☎(052)819-0225	三重	津市久居野村町 字山神421 ☎(059)254-5520

近 畿 地 区					
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎(077)582-5021	大阪	大阪市城東区関目 2丁目15-5 ☎(06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎(075)646-2123	奈良	大和郡山市筒井町 800番地 ☎(0743)59-2770	兵庫	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4 ☎(078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただきます。

中 国 地 区			
鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	浜田	浜田市下府町 327-93 ☎(0855)22-6629
松江	松江市平成町 182番地14 ☎(0852)23-1128	岡山	岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
		広島	広島市西区南観音 1丁目13-5 ☎(082)295-5011
		山口	山口市小郡下郷 220-1 ☎(083)973-2720

四 国 地 区			
香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町 八倉75-1 ☎(089)905-7544

九 州 地 区			
福岡	春日市春日公園 3丁目48 ☎(092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目 8-35 ☎(097)556-3815
佐賀	佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	宮崎	宮崎市本郷北方 字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
長崎	長崎市東町1919-1 ☎(095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
		天草	天草市港町18-11 ☎(0969)22-3125
		鹿児島	鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎(099)250-5657
		大島	奄美市名瀬朝仁町 11-2 ☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区	
沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- SDHC ロゴは商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Intel、Pentium および Celeron は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote[®] 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote[®] 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®] により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com
Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright © 2000–2008 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000–2008 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。
Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate
- その他、本文中に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- 当製品には、イーソル株式会社のリアルタイム OS PrKERNELv4 およびミドルウェア PrUSB/Device が搭載されています。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

9. さくいん

英数字・記号

BGM	71
FM 音声設定	49
SD カード	10、87
50 音検索	53
	29、30

あ行

明るさ	72
アラーム	74
アンテナ設定	24
エコ充電設定	14
オートチューニング	45
オートパワーオフ	17、36、50、64
お気に入り	68
お手入れ	7、85
オフタイマー	74
音声	24
音量調整	18、36、43、50

か行

カードフォーマット	75
外部アンテナ端子	9、25、42
画質モード	72
カラーエフェクト	71
小声を大きくする	73

さ行

再生モード	54
サウンド	73
視聴録画	27
字幕	24、41
写真回転表示	70
充電時間／充電回数	15
省電力設定	55
スキップ間隔設定	41
スライドショー順序	70
製造番号	9
設定初期化	75
操作音	75

た行

チャプターマーク	38
----------	----

チャンネル一覧選択	24
チャンネルスキャン	16、22
チャンネル設定	16、22
チャンネル登録削除	23
チューニングモード	44、49
電池残量表示	15
電池持続時間	91
動作表示ランプ	8、14、27、32、43、45、50

な行

二重音声	24、41
日時を指定して予約録画	30

は行

バージョン情報	75
バックライト自動調整	72
反響音を抑える	73
番組追従機能	33
番組表から予約録画	28
日付検索	66
表示間隔	71
表示切換え効果	71
フォルダ検索	67
プリセット一覧選択	49
プリセット設定	46
プリセット登録削除	48
プレイリスト	52
プレイリスト連続再生	55
プログレスバー表示	41
プロテクト	39
ホールド設定	9
本体アンテナ受信感度	24

や行

予約一覧	35
予約録画（日時指定）	30
予約録画（番組表）	28

ら行

レジューム機能	36、38、50、64
録画可能時間の目安	92

わ行

ワンセグ	5
------	---

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/>

愛情点検

長年ご使用のポータブルテレビの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・映像や音が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やACアダプターが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	SV-ME850V
販売店名	☎ () -		

パナソニック株式会社

AVC ネットワークス社 ネットワーク事業グループ

〒 571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2009

F0309RE3069 (5300 ©)